

SWINTON'S  
SECOND READER

新編書林  
櫻井氏發兌

スヰントﾝ氏  
第二讀本直譯  
全

阿部欽次郎譯述  
二合本

083707-000-2

特27-443

スヰントﾝ氏第二讀本直訳

阿部 欽次郎/訳

M20

DAH-1299





特27

443

No 6032

SWINTON'S  
SECOND READER

新  
瀧  
書  
林  
櫻  
井  
氏  
發  
兌

ス  
井  
ト  
次

第  
一  
讀  
本  
直  
譯  
全

阿  
部  
欽  
次  
郎  
譯  
述  
二  
合  
本





第二讀本直譯

第一章 知更雀

- (1) 此ハ知更雀デアアル
  - (2) 彼ハ霜カ去リシ前ニ此ノ春モ來リシ
  - (3) 其レ故ニ汝ハ見ヨ彼ハ彼ヲ暖ニ保ツ可ク上衣ヲ持ツヲ彼ハ彼ノ革囊ノ中ニ歌作ヲ持ツ
  - (4) 直ニ彼ハ歌ツ、アルデアラフ「チヤラアツプ」——「ト彼ハ美シキ林檎ノ木ノ中ニ巢ヲ持ツ
  - (5) 歌ヒ知更雀ヨ高ク木ニ於テ歌ヒ歌ヒ小兒ト而シ私ニ向ヒテ快ク歌ヲ歌ヒ知更雀ヨ小兒ト而シ私ニ向テ歌ヒ木ニ於テ高ク汝ノ小サキ小兒ニ向ツテ歌ヒ
- 第二章 吾々ノ樂隊
- (1) フランシカ曰シ來レトム而シフレッドヨ我々ヲシテ樂隊遊ヲ遊ハシメヨ私ハ私ノ



帽ニ於テ此ノ青キ鳥ノ毛ヲ置キ而シ然ル後笛ノ代リニ櫛ノ上ニ或ル紙ヲ附ルデア  
ラフ

- (2) トクガ云シ凡テ正シク私ハ大鼓ヲ持タネバナラヌ私ハ錫ノ盆ト而シ或ル棒ヲ得ル  
テズラツ而シフレッドヨ汝ハ喇叭ノ代リニ此ノ紙ヲ用ヒ能フ
- (3) 或ル後ニ樂隊カ歩ミ廻リ而シ遊フ可ク初メチ一此様ナル快ヨキ音樂ヲ
- (4) 母ガ此ノ音樂ヲ騷シキト云フ而シフレッドガ云フ私ハ大ナル響チナス所ノ者ヲ好  
ム
- (5) 私ハ最モ多クノ童ガ好ミナスト考エル

第三章 「フランク」ノ文字

- (1) フランク プラチン ガ六歳老ヘテアリシ彼ガ學校ニ迄テ行キシ最初ノ週ニ彼ハ彼  
ノ名フランクヲ書クヲ學ビシ
- (2) 彼ガ數回其ヲ書キシ而シ彼ガ各々ノ時ニ益善ク其ヲ書キシ週ノ終リニ於テ彼ハ甚

タ奇麗ニ其ヲ書キ能ヒシ

- (3) 第二週ニ彼ノ先生ガ如何ニ此等ノ二ツノ言葉デアハザア一ヲ書ク可クフランクニ  
示セシ
- (4) 彼ハ數回此等ノ二ツノ言葉ヲ書キシ最初ニ彼ガ彼ノ石盤ニ於テ彼等ヲ書キシ而シ  
然ル後ニ紙ノ上ニ彼等ヲ書キシ
- (5) 第三ノ週ニ彼ノ先生ガ如何ニ此等ノ二ツノ言葉アイラブユフヲ書ク可ク彼ニ示  
セシ
- (6) 然ル後彼ノ先生ガ彼ニ迄テ曰シ今フランクヨ汝ノ母ニ迄テ手紙ヲ書ク可シ
- (7) フランク曰シチ一私ハ其ヲ書キ能ハヌ
- (8) 彼ノ先生ガ云シ「サテ」然リ汝ハ能フ
- (9) 彼ノ女ガ然ル後ニ如何ニ彼ガ學ビタ總テ一處ニ置ク可ク示セシ而シ第二週ノ終リ  
ニ彼ハ此手紙ヲ家ニ取リシ愛ラシキ母ヨ私ハ汝ヲ愛スフランクヨリ



- (10) 汝ハ此カ書クヘク六歳ナル童子ニ向テ美シキ手紙デアリシト考ヒナサヌカ
- (11) 然リ實ヨ汝ガ云フ然シナカラ其ハ甚タ短クアリシ
- (12) 其ハ眞デアル然シナカラ其ハ又甚タ美シクアラザリシ乎

第四章 百合花

青キ葉ノ下ニ百合ノ花カ觸レル

愛ラシキ百合ノ花ガ露ヲ以テ輝ク

百合花ハ柔ニ而シ低ク鳴ル

雪ノ如ク白キ潔白ナル百合ノ花ヨ

第五章 海濱ニ於テノ「アイダ」

(1) 小サキ「アイダ」ト而シテ彼女ノ母ガ一度海邊ニ於テ一週間ヲ費セシ「アイダ」ガ奇麗ナル清潔ノ砂原ニ遊ブヘク毎日行キシ

(2) 時トシテハ彼女ハ奇麗ナル貝殻ヲ見出ステアラフ時トシテハ彼女ハ砂原ニ於テ穴

ヲ掘リ面シテ彼女ノ頭ヲ起テ彼女ノ蔭ヲ以テ彼等中ニ坐スルテアラフ彼女ハ結構ナル慰ヲ持ツ

(3) 一日彼女ガ鋭キ棒ヲ取リシ而シテ砂原ニ於テ彼女ノ名ノ文字ヲ作りシ此等ハ「アイデイエイ」ナル文字ヲ有リシ

(4) 彼等カ彼女ノ走り而シテ來リ而シテ其等ヲ見ルベク巳ノ母ヲ呼ビシ「程左様ニ美シク見ヘシ

(5) 彼女ガ叫ビシテ、私ト共ニ來リナセ而シテ私が作ツタ所ノ者ヲ見ヨ

(6) アイダノ母ガ彼女ノ小サキ娘ヲ愉快ニスヘク喜デアリシ左様ニ彼女ガ彼女ト共ニ行キシ然シナカラ彼等ガ其場所ニ迄テ來リシ片ニ汝ハ何ヲ考ヘナスカ其所ニ見ラ

(7) アイダガ叫ビシテ、愛ラシキ母ヨ何處ニ私ノ名カ行キ能フタカ私ハ私ノ名ヲ失フ

タヨ



- (8) 彼ノ母ガ云シ汝ガ此處ニアリシ以來波カ來ツタ而ノ文字ヲ全ク洗ヒ去リシ
  - (9) 其ハ餘リ惡シクアルヨ私ハ左様ニ悲シクアル
  - (10) 決シテ思ヒナスナ愛ラシキモノヨ汝ハ再ヒ彼等ヲ書キ能フ砂原ハ大ナル石盤ニ等シクアル而ノ海ハ汝ノ新ラシキ日課ニ向テ奇麗ニ其ヲ洗ツタ
  - (11) アイダガ笑ヒシ而ノ彼女カ最初ニ於テナセシヨリハ能ク再ヒ彼女ノ名ヲ書キシ
- 第六章 鵝鳥カ何チ云シ
- (1) 私ハ鵝鳥テ大ナル鵝デアル而ノ此等ハ私ノ小サキ兒デアル汝ハ私ヲ見ル可ク喜テアルカ
  - (2) 我々ハ時ノ最モ多ク池ニ於テ泳ク吾々ハ歩ミ能フ而ノ吾々ハ少シク飛ヒ能フ鵝ハ何チ食ヘナスカチ、我々ハ小サキ魚而ノ蛙ヲ食フ
  - (3) 濕レシカサテ否我々ハ池カラ出テ來ル時ニ吾々ハ丁度吾々カアリ能フ丈ケ左様ニ乾キテアル

- (4) 或ル朝惡シキ童子ガ吾々ニ於テ石ヲ投ク可ク初メシ私ハ彼ヲ逐ヒカケシ然シナカラ彼ヲ捕ヒ能ハサリシ此ハ鵝ガ云シ所ノ者デアアル
  - (5) 此ノ童子ガ池ニ迄テ石ヲ投ケナセシ然シナカラ彼ハ鵝鳥ニ打チ着ケル可ク欲シナサハリシ彼ハ彼等ニ打着ケルヘク試ミナサハリシ而ノ彼ハ惡シキ童子テアラサリシ
  - (6) 然シナカラ然ル時ニ鵝ガ多ク知リナサヌ
- 第七章 文章ヲ習フ  
已ニ學ヒタル一ノ言葉カアテヌ
- 知更雀ガ彼ノ革囊ノ中ニ彼ノ歌ヲ以テ春ニ於テ來リシ汝ハ彼ノ巢ヲ見ナセシカチ、然リ結構ナル林檎ノ木ニ於テ
  - 霜カ何時來リナスカ春ニ於テカ
  - 童子等ヨ汝等ハ樂隊ヲ遊ヘ然シナカラ此様ナル騒キヲナシナス汝等ハ音樂ヲ好ミナホヌカ其種類テアラヌトムハ其チ奇麗ト考フ而ノ左様ニ私モ考エナス



○清潔ナル白キ百合花ノ花ヲ見ヨ然リ愛ラシキ者ヨ彼等ハ雲ノ如ク白ク而シテ露ヲ以テ輝テアルアイダハ結構ナル慰ヲ持チナセシカ彼女ハ砂原ニ於テ彼女ノ名ヲ書キナセシカ彼が来リ而シテ文字ヲ全ク洗ヒ去リナセシカ

○汝ハ學校ニ於テ何ヲ學ンタカ私ハ私ノ石盤ニ於テ奇麗ニ書クベク學ンタ而シテ私モ又紙ニ於テ奇麗ニ書キ能フ

○汝ハ手紙ヲ書キ能フカ然リ私ハ昨週私ノ母ニ迄テ一通ヲ書キシ先生ガ如何ニ言葉ヲ書クベキカ私母ガ私ニ云シ私ノ手紙カ短ク而シテ美シクアリシト

○大ナル鵝カ如何ニ多ノ小サキ者ヲ持チナセシカ小サキ鵝ハ濕ル、ベク好ム

○此ノ童子ハ鵝ニ打着ケルヘク試ミナサヌ而シテ彼ハ惡シキ童子テアラサリシ惡シキ童子等ハ鵝ト而シテ蛙ニ於テ石ヲ投ケル

○フランクカ云シ來レフレッドヨ而シテ吾チシテ池ニ於テ泳キヲ持タシメヨ

○チ、否フランクヨ

○何故セ又カ

○私ハ濕レル可ク恐レテアル

○彼ハ濕ル、コナシニ泳キ能フト考エル可ク如何ニ面白キ童子ヨ

○ミンニト曰吾々ナシテ吾々ナシテ吾々ノ先生ニ迄テ手紙ヲ書カシメヨ

○吾々ニ何ヲ云フデアラフカクレイヅヨ

○吾々ハ云フデアラフ

愛ラシキ先生

○汝ハ美ク麗キ殻ヲ集メルヘク海濱ニ迄テ吾ト共ニ行クデアラフカ吾々ハ此様ナル面白キ時ヲ持ツデアラフミンニト而シテクレイヌ

(2)

○如何ニ汝ハナシナスカクレイヌ其ハ汝ガ持ツ奇麗ナル蔭テアル此ノ朝汝ハ何處ニ行キツ、アルカ私ハ學校ニ迄行キツ、アル私ハ知更雀ヲ見ルヘク喜テアル彼等



ハ春ノ時ヲ話ス母カ彼女ノ小サキ者ニ迄歌フ知更雀ハ何處ニ彼ノ歌ヲ保チナスカ  
彼等彼ノ革囊ノ中ニ彼等ヲ保ツ鵝ハ多ク知リナサヌ彼女ハ知リナスカ

第八章 森ニ於テノ徘徊

- (1) アリスメイヨイ而シテスジカ總テ林ノ中ニ歩ミテ取リシ
- (2) アイスト而シテメリハ或ハ美シキ赤キ花ノ開キタル者ヲ見出セシ
- (3) スジカ泥ニ於テ彼女ノ長靴ヲ失ヘシヨイハ彼が大ナル蛇ヲ見タリテ云シ
- (4) 今彼等ハ家ニ行キツ、アル而シテ彼等ハ奇異ナル響ヲ聞クホイッブアーウイ  
ルヨ、く、く、く、
- (5) 其ハ何テアリ能フカエリスガ云シ静ニセヨ而シテ汝ハ再ヒ其ヲ聞クテアラフ
- (6) ネリスガ其ガ何デアアルカヲ知ル汝ハナスカ
- (7) メイト而シテスウジハホエツブ、アーウイルト云フ可ク鳥ニ向テ甚タ奇妙ナル者  
デアアルデアラフ

- (8) 左様ニ私モ考ヒナス而シテ私ハ其ガ又鳥ニ向テ奇妙ナル名デアルト考ヒル

第九章 小サキ尾長猿

- (1) 其處ニ街道ニ於テ見ヨ小サキ尾長猿ヲ見ヨ其ハ赤キ帽ト青キ上衣ヲ持ツ其處ニ其  
小サキ体ノ周リニ繩ガ有ル而シテ人カ繩ヲ持ツ、アル
- (2) 人ハ樂機ヲ遊ヒツ、アル彼ハ樂機ノ手ヲグル、廻ス而シテ始終尾長猿ハ跳リ而シ  
彼ノ帽ヲヌギテアル
- (3) 丁度今小サキ小兒ガ尾長猿ノ帽ノ中ニ一錢ヲ投ゲシ如何ニ美シキ禮ヲ尾長猿カ  
ナスヨ人ノ腕ノ上ニ跳フ尾長猿ヲ見ヨ
- (4) 今彼ハ帽ノ中ニ彼ノ手ヲ置キ而シテ一錢ヲ取出ス今彼ガ人ニ迄テ其ヲ與フ今彼ハ再  
ヒ跳ヒ下ル
- (5) ナ、其童子ニ於テ見ヨ彼ハ尾長猿ニ於テ棒ヲ衝ク尾長猿ハ甚タ怒テアル彼ハ彼ガ  
迷チ顯ハス而シテ私ハ鳴ク彼ヲ聞キ能フ



(6) 人ハ繩ヲ引ク彼ハ靜マルベク尾長猿ニ欲セシ今小サキ尾長猿ガ再ヒ躍ル今彼ガ總テ彼ノ四ノ手ニ於テグルク廻ル

(7) 汝ハ帽ノ中ニ彼ノ手ヲ置キ而ソ一錢ヲ取り出ス尾長猿ヲ見セシ汝ハ人ニ迄其ヲ與ヘル彼ヲ見ナスカ

(8) 私ハ尾長猿カ若シモ彼ガ其ヲナシ能フナラハ美シキ善キ手ヲ持ツト考ヒル  
文章ノ稽古 繪ヲ見而ソ答ヲ書ケ

人ハ何ヲナシツ、アルカ

機關ニ於テノ動物ハ何テアルカ

誰カ其ニ於テ眺メツ、アルカ

第十章 吾々ホシテ此等ノ名ヲ學バシメヨ

- (1) 若キ犬ノ名ハ何テアルカ
- (2) 若キ羊ノ名ハ何テアルカ

(3) 若キ猫ノ名ハ何テアルカ

(4) 若キ牝牛ノ名ハ何テアルカ

(5) 若キ馬ノ名ハ何テアルカ

(6) 若キ山羊ノ名ハ何テアルカ

(7) 若キ鶏ノ名ハ何テアルカ

(8) 若キ鶯ノ名ハ何テアルカ

(9) 若キ鷺ノ名ハ何テアルカ

(10) 若キ鳥ノ名ハ何テアルカ

第十一章 雀

(1) 雀ハ甚タ大膽ナル頑愚ナル小サキ者テアル彼ハ汝ノ足ノ下ニ跳ヒ廻ルデアラフ彼ハ言フベク見ユル誰ガ怖レテアルカ私ハ怖レヌト

(2) 雀ガ町ニ於テ一處ニ集ルヲ好ム汝ハ跳ヒ廻リ鳴キ啄キ而叱ル彼等ノ多クヲ見得



ル  
 (3) 農夫が雀ヲ射ル或ハワナニ於テ彼等ヲ捕フ可ク試ミル如何トナレバ彼等ハ彼ノ穀物ヲ食フ故ニ私ハ彼ハ此等ノ鳥ガナス處ノ善ヲ知リナサヌト考ヘル彼等ハ彼ノ穀物ニ迄テ害ヲナス所ノトコムシテ食フ

(4) 其處ニ白キ喉ヲ持ツ處ノ雀ノ種類カアル春ニ於テ其ハ甚タ愛ラシク囀リ能フ此所ニ此等ノ鳥ノ三羽ガアル

言葉ノ章 汝ノ答ヲ書ケ

○大胆ナル小サキ者デアアルカ

○此ノ雀ハ頑愚ナル小サキ者デアアルカ

○雀ハ春ニ於テ快ク囀リ能フカ

第十三章 寢床ノ猫

(1) メイリケイリーノニツノ加奈理亞鳥ハ彼女ニ迄テ囀リ而シテ歌フ小猫ヨ汝ハ其チ

聞キチヌスカ小猫ガアル々ト云フ

(2) メリーノニツノ加奈理亞鳥ガ去ツテ又殺シ而シテ食フテアル小猫汝ハ其チナシナスカ小猫ハミユフ々ト云フ

第十三章 月ニ付テ

(1) 何時吾々ハ月ヲ見ナスカ夜ニ於テ吾々ハ何處ニ其チ見ナスカ空ニ於テ其ハ何ニ均シク見エナスカ

(2) 時トシテハ此ニ等シク圓ク月ガ見ユル其ガ此ニ均シク見ユル片ニ吾々ハ其チ満月ト云フ

(3) 圓ノ如ク月ガ常ニ圓ク見エナスカ否時トシテハ其ハ一方ニ於テ殆ト直線ノ而シテ他方ニ於テ彎形ニ見ユル

(4) 此ハ然ル片ニ其ガ見ル仕方アル其ハ此象ヲ持タル時ニ吾々ハ其チ何ト呼ヒチヌカ吾々ハ其チ半月ト呼ブ



(5) 他ノ時ニ於テ月ガ此ニ等シク見エル然ル時ニ人々ハ其ヲ新月ト呼ブ

(6) 月ガ輝ニテ見エル如何トナレハ大陽ガ其上ニ輝ク故ニ月ガ新クアル時ニハ吾々ハ唯輝キタル部分ヲ小サク見ル其ガ満チテアル片ニ吾々ハ月ノ總テ輝キタル全而ヲ見ル

第拾四章

算ヘルベク學ブ

(1) 如何ニ多クノ指ヲ小兒ガ持ツカ言ヒ

働キ或ハ遊ビニ向テ如何ニ多クノ手ヲ持ツカ

如何ニ多クノ足指而シテ如何ニ多クノ足カ

如何ニ多クノ指カ愛子ヨ彼等ヲ算ヒヨ

(2) 薔薇ノ如ク石竹ノ如キハツノ少キ指

ニツノ小キ大指ト而シテ十ノ小キ足指

ニツノ小キ手而シテニツノ小キ足

私ノ愛子ヨ其ハ算ヘルヘキ仕方デアル

言葉之章

此等ノ二行ヲ寫セ

如何ニ多クノ足

彼等ヲ算ヘヨ

第拾五章 作文稽古

來レメイ而シテアイダ吾々ヲシニ林ニ於テ徘徊ヲ取ラシメヨ汝ハ其奇妙ナル響キヲ

聞キオスカ汝ハ其レカ知更雀ト考ヘオスカ、チー否ナ其レハ「ホエツプ」「フアー」「ウ

サ」デアル

雀ハ只囀リ能フ然シナカラ知更雀ハ「チヤアツプ」々々ト云ヒ能フ私ハ猫子ヲ持チ其

レノ名ハ「ヤ」トデアリスデアルフレツドハ犬子ヲ持チ其レノ名ハ「ネツ」デアアル汝

ハ彼等ノ巢ニ於テ鷺子ヲ見ナセシカ老ヘタル榎ノ木ニ於テ上ニ高ク巢ヲ見ヨ

若モ鵝カ多ク知リナサヌラハ汝ハ鵝子ガ知リナスト考ヘオスカ其レカナスト考ヘ

爲サヌ



猫子等汝ハ悪シキ猫子ヨ汝ハ私ノ二ツノカナリヤチ食ヒナセシカ「ミユウ」々々ト云  
 ヒナサヌ如何トナレハ私ハ汝カ爲セシチ知ル故ニ私ハ汝ニ於テ恐レテ有ル猫子ヨ  
 私ハ山羊ヲ買フベク行キツ、アル然ルキニ私ハ慰ヲ持ツテアロウ其レハ私ノ車ニ於  
 テ私ヲ引クデ有フ

第二

新月ハ何テアルカチー其レハ吾々が輝ヘタル部分ノ唯少シヲ見ル時デアル然シナガ  
 ラ我ガ月ノ總テノ輝エタル方ヲ見ル時ニ吾々ハ其ガ満月デアルト云フ梟ハ月ノ光リ  
 ニ於テ飛ブ如何ニ小兒ハ算ヘルベク學ヒナスカ彼女カ云フ私ハ八ツノ小キ指ト十ノ  
 小キ足指ト二ツノ小キ手ト二ツノ小キ足ヲ持ツ

第十六章 フレッドノ三匹ノ馬

(1) フレッドハ如何ニ多クノ馬ヲ持チシカ吾ヲシテ見セシメヨ一ツ二ツ三ツ然シナガ  
 テ彼ハ直ニ總テ彼等ヲ持チナサヅリシ面ニ彼等ハ馬ノ總テ同シ種類テアラザリシ

(2) 彼ノ其レノ最初ノ馬ハ彼ノ父ノ足デアリシオー何ント美シキ乗リチ彼カ此馬ニ於  
 テ持ツシヨ乗ル彼チ見ヨ彼ハ落チヌテアロウ如何トナレハ彼ハ手綱ニ依テ保ツ故

(3) 手綱カガテ然リ彼ノ父ノ手カ手綱テ有ル

(4) フレッドノ次ノ馬ハ木馬デアリシ確ニ彼ハ錫ノ馬ヲ持チシ然シナカラ彼ハ其ノ一  
 ツチ算ヒナサヅリシ如何トナレハ彼ハ其ニ乗リ能ハザリシ故ニ

(5) 然シナカラ木馬カ然リ其ハ善キ者デ而シテ面白キ者デアリシ而シテフレッドハ彼  
 ト共ニ何ノナ慰ヲ持チシヨ彼ノ名ハ子ツドデ有リシ

(6) 私ハ若シモチツドカ直ニ具直ニ唯行タナラバ彼ハ凡ソ一週間ニ世界ノ端ニ迄フ  
 レッドヲ運ンタテ有フト考ヘル

(7) 然シナカラ彼カナシ能ヒシ總テハ日出テヨリ日没スル迄テ後方面シテ前方而シテ  
 前方而シテ後方ニ動クベクアリシ其レハ木馬カ持ツ所ノ仕方アル甚タ遅キ仕方



ト汝ハ言フテアロウ

(8) 猶フレッドハ子ツドナ以テ甚タ多ク樂テアリシ彼ハ決シテ彼カ生タ馬ヲ持チ迄

彼ヲ飽キ得ザリシ而シテ此ハ殆ント彼カ八歳老ヘテアリシ時テ有リシ

(9) 眞ノ生タル馬ヨ然リ其レハ總テノ最モ善キ者テアリシ父ノ足ヨリヨリ善クフレッド

ヨリヨリ善クアル其ハ常ニ行キツ、アリシ然シナカラ決シテ前ニ行キツ、アラザ

リシ

(10) 汝ハフレッドノ生タル馬ノ圖ヲ見ルベク好ムテアロウ善シ此章ノ端ニ於テ見ヨ而

シテ汝ハ其レヲ見ルテアロウ

(11) 馬ヨト汝ハ言フサテ其レハ唯小馬デア

(12) 然リ其ハ左様テアリシ然シナカラ馬子ノ小馬デア而シテ汝カフレッドハ唯小サ

童子デアリシヲ知ルフレッドノ馬ハ唯小馬デアリシ然シナカラ如何ニ彼ハ驅ケ能

ヒシヨ

(13) フレッドハ毎日彼ノ小馬ニ於テ學校ニ迄テ乗ルベク馴レシ此所ニ彼ハ彼ノ背ニ於

テ彼ノ書物ヲ以テ行ク驅ケヨ々々林檎ノ木ノ下ノ小路ヲ下リテ

言葉ノ章 汝ノ答ヲ書ケ

フレッドハ三匹ノ馬ヲ持チナセシカ

彼ノ最初ノ馬ハ彼ノ父ノ足テアリシカ

彼次ノ馬ハ木馬デアリシカ

彼ノ三度目ノ馬ハ生タル馬デアリシカ

其ハ馬子デアリシカ

小馬ハ速ニ馳ゲ能ヘシカ

フレッドハ其一ツヲ最モ善ク好ミナセシカ

第十七章 二ツノ小サキ話

(1) 童子ハ羊ノ群ヲ番スルベク置カレテアリシ而シテ若モ彼カ狼ノ來ルヲ見シナラハ



叫ビ出スベシ話サレシ

- (2) 此ノ童子ハ戯ヲ喜ンデアリシ其故ニ彼ハ屢々狼々々ヨト叫ンダテアロウ然ル片ニ人々が彼等ノ働キカラ走タテアロウ然シナカラ唯ターノ狼ガ其處ニ有ラザリシヲ見出スベキノミ此童子ハ此ガ面白キ戯デアリシト考ヘシ
- (3) 然シナカラ一日狼ガ來リナセシ而シテ然ル片ニ童子ハ助ケヨ々々狼ヨ々々ト叫ブヘク始メシ
- (4) 汝ハ人々が彼ヲ信ゼシト考ヘナシカ否彼等ハ其ガ唯例ノ欺キノ一ツデアリシト考ヘル
- (5) 彼ハ叫ビシ而シテ泣キ願ヒシ然シナカラ一人モ彼ニ迄行キ或ハ或ル助ケヲ彼ニ與ヘンダテアロウ
- (6) 左様ニ狼ハ二ツノ羊而シテ一ツノ小羊ヲ捕ヒシ而シテ彼等ヲ殺セシ
- (7) 誰レカ此話ガ何ヲ教ヘルカナ話シ能フカグレイスヨ汝話セ

第二

- (1) 一日或ル童子等カ池ノ岸ニ依テ遊ビツ、アリシ而シテ彼等ノ或ル者カ戯レニ向テ水ノ中ニ石ヲ投ケシ
- (2) 今此池ニ於テ多クノ蛙カ生活セシ而シテ一疋ツ、童子等ガ投ケシ所ノ石ニ依テ衝タレシ其故ニ遂ニ賢キ老エタル蛙ガ池ヨリ彼ノ頭ヲ出セシ而シテ言ヒシ童子ヨ「ドウゾ」左様ニ吾々ニ投ケ打チナスナ
- (3) 吾々ハ唯遊ヒツ、アルト童子等カ言ヒシ
- (4) 私ハ其ヲ知ルト蛙カ言ヒシ然シナカラ汝等ガ投ケル石ハ一同吾々ヲ害ス汝ニ迄ノ遊テアル所ノモノハ吾々ニ迄テ死テアルヨ
- (5) 誰レカ此話ガ何ヲ教ユルカナ話シ能フカベンヨ汝ハ話セ

第十八章 爆セル穀物

ヒツプホツプピツプポツプテツプトツプ玉蜀黍



鍋カテ火ニ迄テ破裂シツ、而シテ益々高くハ子上ガリツ、  
新シキ雪ノ如ク白シ金ノ如ク黄シ汝ハ其レカ冷クアル迄テ忍ヒテアルベクヨリ善ク  
アル

第十九章 何チラガ私ノ親友デアアルカ

- (1) 私ハ多クノ兄弟而シテ姉妹ヲ持ツ私ハ彼等ヲ愛シナスカオ一然リ愛スル然シナカ  
ラ私ヲシテ見セシメヨ私ハ凡テ丁度均シク彼等ヲ愛シナスカ
- (2) ヨシ私ハ彼等ノ名チアチラニ呼ブデアロウ而シテ若シモ其處ニ私カ總テノ餘リノ  
者ヨリモ少シクヨリ多ク愛スル所ノ一人カアラズカ見ルデアロウ
- (3) 然リ私ハ私カ兄弟ノ公アリテ最モ好ク愛スルコトヲ考ヘナス  
如何トナヌハ彼ガ常ニ其ノ他誰デモヨリモ私ヲヨク愛シ故ニ善キ勇敢ナル貴キ  
丁ハアリヨ私ハ實ニ甚ク多ク彼ヲ愛シナス
- (4) 然シナカラ確ニ其ノ處ニイセバルガアル可愛イセベルヨ私ハ私カハアリーノ如ク

丁度左様ニ能ク彼女ヲ愛スルト考ヘル私ハ丁度同シク兄弟并ニ姉妹ヲ愛シ私ハ其  
レニ就テ確デアル

- (5) 然シナカラ私トシタコトハ私ハ小サキアイダチ忘テアル其處ニ奸猾ナル小キアイ  
ダヨリモ私ニ迄此ノ世界ニ於テヨリ多ク愛ラシキ兄弟ト姉妹デアリ能ハヌ
- (6) 尙ホ私ハ丁チ云ハチハナラヌ其ハイライスチ撰フベク私ニ向テ正シクアルデアロ  
ウ如何トナレハ彼女ハ最モ老テアル故ニ
- (7) 吾々チシテ再ビ考ヘセシメヨ其處ニローズガアルローズハ私ノ最モ大ナル親友テ  
アルテ有フト想像スルカ私ハ彼女カ若シモシヨント而シテフランクニ向テナカリセ  
ハアルデアロウト考ヘナス
- (8) シヨハ學校ニ於テアチラニ有ル而シテフランクハ私ノ愛ラシキ水夫ノ兄弟デア  
ル私ハ甚ク屢々彼等ヲ見ナサヌ然シナカラ私ハ始終私ト共ニローズチ持チ左様ニ私  
ハ考ヘナサヌ私ハシヨハ又ハフランクヨリモ少シモヨリ好クローズチ愛スルト考



○私ハ凡テ彼等ヲ名ザシタ彼等ハ唯七人デアアル

○私ハ左様ニ平ニ總テニ迄私ノ愛ヲ見出ス

○各々ハ姉妹各々ノ兄弟ニ迄テ私ハ他ノ者ヨリモヨリ多ク一人ヲ愛サヌ

第廿章 隠レ「本」

(1) 部屋ヲ上リ而シテ下リ戸ノ後ニ於テ椅子ノ上ニ登リ床ノ上ニ匍匐ヒ

(2) 机下ニ於テ長椅子ヲ廻リ私ノ小サキ兄弟ガ行ク叫ヒツ、汝ハ其處ニアルカト

(3) 而シテ兄弟ガ私ヲ見ル時ニ然ル時ニ私ハ逃ゲル而シテ彼ガ逐カケル戲ニ於テ笑ヒツ、

(4) 左様ニ隠レオモニ於テ吾々ガ遊ブ而シテ愉快ナル時ヲオケル

第廿一章 仇ニ向テノ口吸

(1) シナルシト而シテアマアリハ兄弟而シテ姉妹テアリシ彼等ガ同シ學校ニ迄テ行キシ

一日シナルジハマアリヲ以テ怒リテ得シ其レ故ニ彼レハ彼ノ手ヲ揮リ上ケ而シテ

彼ハ姉妹ヲ平手テ拍チシ

(2) 然ル片ニ彼ノ姉妹ハ怒テ得シ而シテ彼ニ拍チ返シベク彼女ノ手ヲ上ケシ

(3) 先生ガ彼女ヲ見シ而シテ言ヒシアマアリヨ汝ハ汝ノ兄弟ヲ口吸スヘクヨリヨクアル

言ヨ言ヒシ

(4) マアリハ彼女ヲ手ヲ下セシ而シテ彼女ノ先生ニ於テ見上シ恰モ彼女ガ何が言ハレ

テアリシカヲ全ク知リナサマリシ彼ノ如ク

(5) マアリハ惡言向テ善ヲ與フベク決意テ教ラレテアラサシ彼女ハ若シモ彼女ハ兄

弟ガ彼女ヲ打シナラズ彼女ハ打チカヘシ得テト考ヘシ

(6) 先生ハ彼等ノ兩方ニ於テ甚タ親切ニ眺メシ而シテ再ビ言ヒシ私ノ可愛マアリヨ汝

ハ汝ノ兄弟ヲ口吸スベクヨリヨク持テ彼ハ如何ニ怒リテ而シテ不幸デアアルカヲ見

マアリハシナルシノ顔ニ於テ眺メシ彼女ハ彼ガ甚タ短氣テ而シテ不幸デアリシ

(7) マアリハシナルシノ顔ニ於テ眺メシ彼女ハ彼ガ甚タ短氣テ而シテ不幸デアリシ



ヲ見シ

(8) 直ニ彼女怒リガ止ンテアリシ而シテ彼女ノ兄弟ニ向テノ愛カ戻リシ彼女ハ彼ノ頸ノ廻リシ彼女ノ腕ヲ投ケシ而シテ彼ヲ口吸セシ

(9) 然ルルキニシヨルヨハ泣キ出セシ彼ノ姉妹ガ涙ヲ揮フベク彼女ノ蔽膝ヲ取リシ而シテ曰シ泣キナスナヨナルヨ汝ハ多少我ヲ害シナサズリシ

(10) 然シナカラ彼ハ唯嘗テヨリモヨリ強ク叫ビシ誰モガ嘗テ再ビ彼ノ小キ兄弟ヲ打ツシナルヲ見ザリシ

言葉ノ章 汝ノ答ヲ書ケ

誰ガ兄弟而シテ姉妹デアリシカ

誰ガマアリテ以テ怒リテ得シカ

シナルヲハ何ヲナシナセシカ

誰ガ然ルルキニ怒リテ得シカ

先生ハマアリニ迄テ何ヲ云ナセシカ

第二十二章 ヘンリノ鳩

(1) 鳩ハ何ント奇麗ナル鳥デアアルヨ私ハ汝ガ凡テ鳩ヲ見タヲ確メデアアル如何トナレハ彼等ガ甚ク馴レタル鳥デアアル故ニ

(2) 彼等ハ農家ニ近ク住ムベク好ム而シテ加之市ニ於テ生活スルヲ好ム其ハ汝等ノ或ル者カ汝等自身ノ鳩ヲ持ツコアルベシ

(3) 小キヘンリヲラヌタルハ彼ノエトラロノシナルヲ依テ彼ニ與ヘラレテアツタ所ノ一ヲ持チシヘンリハ市ニ於テ住ミシ然シナカラ彼ノ従弟シナルヲ數十里隔タル田舎ニ於テ彼ノ家ヲ持チシ

(4) 今ヘンリノ鳩ハ汝ガ飛ヒ廻ルヲ見ルモノニ丁度均クアラザリシ

其ハ容易ク彼等ノ家ノ道ヲ見出シ能フコノ鳩ノ一種ノ一疋デアリシ彼等カ甚ク遙カアテニ捕ヘテアル時デサヘモ



- (5) 人民ハ時トシテハ手紙ヲ運ブベシ此等ノ鳥ニ教ヘル其ニ附テ考ヘヨ其レハナスベク鳥ニ向テ大働ニシテアラスガ
  - (6) 空氣ニ於テ高ク小山而シテ森而シテ小川ヲ超テヘンリノ鳩ガ眞直ニ家ニ飛ブテアロウ汝ガ其ノ頸ニ迄テ結ビ付ケシ或ル手紙ヲ以テ
  - (7) 三日ヘシテハ彼ノ從弟ノシヲ死シテ見廻ルベク行キテ而シテ彼ハ彼ト共ニ彼ノ奇麗ナル鳩ヲ運ビシ
  - (8) 鳩ト而シテ其ノ小キ主人并車ニ於テ數里ヲ乘リシ然シナカラヘンリハ彼ノ鳥ガ容易ニ家ノ道ヲ見出シ能フコト未知リシ
  - (9) 其レ故ニ翌朝ヘシリテ彼ノ母ヲ迄テ手紙ヲ書キシ鳩ノ頸ニ迄其レヲ結ビ付ケシ面シテ鳥ヲ放シシ其レハ箭ノ如ク飛ヒ去リシ
- 第廿三章      ヘンリノ鳩
- (1) 今吾々ヲシテヘンリノ鳩ガ何ヲ書キシカナ見セシメヨ其ハ汝ガ鳩ノ頸ノ上ニ結ビ付テ

- 汝テ汝ガ見ル所ノ手紙ニ於テノ凡テアル
- ヘンリノ手紙      愛ラシキ母ヨ
- 爰ニ私ハ安全ニ而シテ善ク煙バシナルシ宅ニ於テ有ル私ハ好キ時ヲ持チツアル而シテ叔父ハ甚ク親切ナル然シナカラ私ハ凡テ汝等ヲ見ルベク要シナサヌ汝ト而シテ愛ラシキ父ノ而シテ小キ姉妹ノメイト其故ニ私ハ明朝家ニ來ルテアル
- 汝ハ愛スル子息ノヘンリ
- (2) 汝ハヘンリノ母ガ家ニ來ル鳩ヲ見ルベク而シテ彼女ノ小サキ童子ノ手紙ヲ得ルベク喜ンテアリシト考ヘナサヌカ彼女ハ實ニアリシ
- 第三十四章      作文稽古
- (1) 汝ハ小馬ガ何テアルカナ話シ能フカ汝ハ馬子カ何テアルカナ話シ能フカフゾツドハ木馬ガ眞ノ生タル馬ノ通り其レ程善クナシト考ヘナサマリシ私ハ多クノ童子ガ木馬ヨリモヨリ善ク生キタル馬ヲ好ムト考ヘル汝ハナサヌカ



- (2) 躍ル尾長猿ヲ見ヨ此處ニ汝ニ向テノ一錢ガアル尾長猿君ヨ今汝ノ小サキ赤キ帽ヲ脱キ而シテ美シキ嘿禮ヲナセ
- (3) 小兒ハ十チ數ヘ能フカ否然シナカラ彼ノ女ハ十ノ足指ヲ持ツ彼ノ女ハ其ヲ知リナサヌ何ント奸猾ナル小兒ヨ
- (4) 日出ヨリ日沒迄テ一日デアル
- (5) 汝ハ爆セル穀物カ冷カナル迄忍シテアリ能フカ如何ニ白ク而シテ黄ク其レカアルヨ其ハ雪ト而シテ金ノ如クアル
- (6) 其處ニ事ヲ教ユル所ノ話カアル若シモ吾々ガ屢々左様デアラヌ所ノモノヲ云フナラバ人々ハ遂ニ吾ヲ信セヌデアロウ吾々ガ眞テアル所ノモノヲ云フ時デサヘモ
- (7) 斯處ニ事ヲ教ユル所ノ話カアル吾々ハ他ヲ害スル所ノ者カラ戲ヲ試ミテハオラヌ
- (8) 汝ハ嘗テ田舎ニ於テ汝ノエトチヨニ迄見廻ヒチナシナセシカ彼レハ汝ヲシテ彼ノ

小馬ニ乗ラシメナセシカ

- (9) 來レハアリヨ吾々ヲシテ隠レオニニ於テ遊ハシメヨ吾々ハ快キ片ヲテクルデアロウ其レハ何ヲ意味シナスカ
- (10) 怒ニ於テ話シナスナ親切ニ話セ親切ナル愛ラシキ小キアイダニ

第二

時トシハ私ノ小キ兄弟ト而シテ私ハ隠レ鬼ヲ遊ブ彼ハ長椅子ノ上ニ登リ而シテ椅子ノ下ニ俯フ彼ハ彼ガ私ヲ見ル片ニ笑フ吾々ガ持ツ如キ此様ナル戲ヨ汝ハ仇ニ向テノ口吸フ話シテ讀ンダカヘンリトフチヌタルハ彼ノ小キ従弟ノシタルジニ馴レタル「ハト」ヲ與ヘシ汝ハ其ノ圖ヲ見ナセシカ如何ニシタルジノ母ガ手紙ヲ得ル可ク喜ソデアリシ

第二十五章 泥ノ菓子

私ニ話セ太陽ニ於テ遊ブ所ノ小キ買女等ヨ「パン」焼キガ爲サレテアル迄幾分ヲ要ス



ルカ  
 ハアリーハ竈ヲ立ツル  
 レリーハ上皮ヲ卷キ  
 シニシハ總テ金砂ノ粉ヲ買フ  
 此所ニ其ヲナデヨ而シテ其所ニ其ヲナデヨ  
 何シト結構ナル大サヨ  
 板片ノ上ニ其ヲ燒ク奇麗ナル泥菓子ヲ  
 美シキ木鼠君ハ欄ヲ飛ビ居レ座ヲ取り而シテ眺メル彼ノ繁タル尾ヲ卷キ上ゲル  
 吾々ハ飴ヲ持テシテ欲スル吾々ハ左様ニ其ヲ要スルト思フ  
 其ハ道バタニ此様ナル泥ノ積ヲ造ルデアラフ  
 彼等ヲ「コチ」コシ而シテ彼等ヲコチ出セ  
 如何ニ朝ガ過ルニ晝飯ニ向テノ鐘ガナルヨ

厚キ泥菓子ヨ

第二十六章 私ノ馴レタル梟

- (1) 一度私ハ梟ヲ持テシテ白キ梟ヲ持テシテ彼ハ甚タ馴レテ有リシ而シテ私ト共ニ有ル可ク好ミシ彼ノ家ハ私ノ家カラ遙カナラザル木ニ於テ有リシ而シテ毎日彼カ私ヲ見ル可ク來リシ
- (2) 梟ハ太陽ヲ好ミナサヌ如何トナレハ彼ハ暗ニ於テ最モ能ク見能フ故ニ然シナカラ私ノ梟ハ晝ノ時ニ於テ私ヲ見ル可ク來リシ程左様ニ私ヲ好ンデアリシ
- (3) 其ハ私ノ家ニ迄ノ道ヲ飛ビ來ル彼ヲ見ルノ其ハ左様ニ面白クアリシ飛ブヨ々々
- (4) 彼ハ右或ハ左ニ迄テ見爲サザリシ然シテカテ彼ガ私ニ迄テ來リシ迄テ眞ニ飛ブデア有フ私ハ肉ノ一片ヲ彼ニ與ヘル可ク馴レシ而シテ彼ハ甚タ多ク其ヲ好ミシ
- (5) 此ノ晝飯ノ後ニ飛ビツゝ來ルデアラフ而シテ私ノ机ノ上ニ止マルデアラフ彼ハ彼ノ爪ニ於テ筆ヲ取り而シテエンキニ於テ窺フデアラフ腕モ彼ガ又書ク可ク好ムデア



アラフカノ如クニ

(6) 然ル後ニ彼ガ机ニ於テ坐スルデアラフ而シテ私ニ於テ瞬スルデアラフ瞬スルヨ々々

(7) 其ハ坐リ而シテ瞬スル鼻ヲ見ル可ク面白クアリシ彼ハ甚タ賢ク見エシ彼ガアリシヨリモ遙ニ賢ク見エル

(8) 然ル後ニ暫時ノ後ニ彼ハ机ガ飛ビ下ルデアラフ而シテ草庭ノ上ニ飛ブデアラフ然ル片ニ彼ハ振りムキ而シテ再ビ私ニ於テ瞬スルデアラフ云フ此ノ時ニ向テ左様ナラト云フベク如ク左様ニ多ク

(9) 始終常ニ笑フ可ク持チシ事程左様ニ賢ク見ユルデアラフ而シテ彼ヲ見シ所ノ各々ノ人ハ又笑フ可ク持チシ

第廿七章 待チ能ヒシ所ノ鳥

(1) 「プリムローズ」ハ八歳ナル愛ラシキ女デアリ圖ニ於テ汝ハ輝ヒタル赤キ櫻實ヲ保

チツ、彼ノ女ノ父ノ園ニ於テ櫻ノ樹ノ下ニ座スル彼女ヲ見ヨ

(2) 此等ヲ彼女ハ數日而シテ數週間守リシ彼等ハ毎日些シツ、生長シタ而シテ太陽ハ綠色カラ赤色ニ迄テ彼等ヲ變シマ

(3) 「プリムローズ」ハ彼等ノ或ル者ヲ食フ可ク慕フ彼等ハ左様ニ肥リ而シテ芳バシキ汁ヲ以テ左様ニ満チテ見エシ然シナカラ彼女ノ父ガ云ヒシ見ユ然シナカラ觸レナスナ小シヨリ長ク待テ

(4) 其ハ待ツベク難クアル如何トナレハ其處ニ櫻實ガ彼女ノ頭ノ上ニ有リシ而シテ各々ノ風カ彼女ニ迄テ彼等ヲ垂レシメシ故ニ彼等ハ來リ而シテ吾々ヲ食ヒト云フベク見ヘシ

(5) 遂ニ一日「パリムローズ」ハ木ニ於テ眺メ上ゲツ、アリシ彼女ノ口ト而シテ目ガ潤ク開エテアリシ其ノ時ニ彼女ノ口ニ迄テ赤キ熟シタル櫻實ノ一ツガ落チシ

(6) 彼女ノ父ガ家ニ來リシ片ニ「プリムローズ」ハ彼ニ赤キ面ヲ熟シタル櫻實ヲ示セシ



(7) 「プリムローズ」曰ク好ヨ今其ハ彼等ヲ摘ムベキ時デアアル其レ故ニ彼女ハ籠ニ向テ  
走り而シテ彼女ノ父ガ櫻實ノ充ツル迄其ヲ保ナシ

(8) 汝ハ亦彼ノ櫻實ヲ得ル「プリムローズ」ヲ見ヨ而シテ私ハ其ガ善キ櫻實デアリシヲ喜  
テアル如何トナレバ彼女ハ甚ク忍耐シテ有ク故ニ彼女ハ如何ニ待ツベク知リシ

第二十八章

水ニ均シキ何者ガアラス

(1) 洗フ爲メノ水而シテ飲ム爲メノ水其處ニ水新鮮ナル水ニ均シキ何物ガアラスト私  
ハ考ヒテアル

(2) 盃中ニ或ハ徳利ノ中ニ水ノ升何物ヲモ置クナ而シテ然ル後ニ快ヨキ人ヨ汝ハヨク多  
ク賢ク而シテヨリ多ク富シタル者デアアルデアラフ

第二十九章

雌雞ト卵而シテ離

(1) 汝ハ嘗テ下度解サレシ離ヲ見ナセシヲ扱テ其ハ世界ニ於テ美シキ小キ者ノ一ツテ  
アル其ハ輝エタル目而シテ柔キ軀ヲ以テ然シナラシメ其ノ廻リノ最モ美シキ物ハ此様

ナルコデアアル其ハ下度卵ニ均シク翼ヲ以テ蓋ハレテ見エル

(2) 其ハ細キ嘴而シテ下度見ラレ能ク所ノ小キ脛ノ一對ヲ持ツ實ニ彼等カ最初ニ巢ヲ去  
レル時ニ小サキ離ハ廻ル所ノ翼ツキタル卵ノ如ク見エル

(3) 各々小サキ離ハ其カ世界ニ於テ付テ走りシ前ニ卵ノ中ニアチラニ隠レテアリシ雌  
鶏ガ彼等ヲ暖ニ保ツベク數日卵ノ上ニ坐リシ而シテ離カ殻ノ内側ニ於テ生長スル

(4) 離ガ卵カラ來ル可ク用意シテアリシキニ其ハ其ノ嘴ヲ以テ殻ニ於テ啄ク而シテ小  
キ穴ヲナス然ル片ニ其ハ其ノ自身ヲ出ス其ガ出デ、アルヤ否ヤ其ハ其ノ母ノ  
側ニ依テ下ニ坐ス而シテ甚ク静ニ保ツ

(5) 都度々其ハ其ノ母ノ頭ニ依テ正シク立ツテ有フ而シテ其ノ母ノ顔ニ於テ甚ク快ク  
啄ク惋モ其ガ彼女ヲ口吸シツ、アリシカノ如クニ直ニ他ノ小サキ離カ其ノ殻カラ

出ヅルテ有フ而シテ速ニ總テノ離ガ出デ、在ル

(6) 然ル片ニ老エタル雌雞ナル母ガ甚ク喜テアル如何トナレバ彼女カ彼女ノ小サキ即



チ雛ノ爲メニ長キ時ヲ待チツ、アツタ故ニ彼等ノ殻ヲ出テ來ル可ク而シテ小サキ  
「トコムシ」而シテ出テ啄ミ上クベク彼女ト共ニ走り廻ル可ク

(7) 屢々雌雛ノ下ニ坐ス而シテ然ル後ニ總テ小サキ雛ガ彼女ノ下ニ走ル彼女ハ彼等ノ  
上ニ彼女ノ翼ヲ「タ、ム」而シテ彼等ヲ温ニ保ツ

(8) 暫時ノ中ニ彼女ハ再ヒ立チ而シテ彼女ノ後ニ小サキ者ヲ引キツレル速ニ彼女ガ雛々ト  
呼ブ而シテ然ル後ニ彼等ガ總テ彼女ニ迄テ走ル如何トナレハ彼女ハ小サキ「トコム  
シ」ヲ見出シタ故ニ

(9) 彼女ハ其ヲ啄ミ上ケ而シテ其ヲ落ス彼等ガ其ヲ見得ル爲メニ見ヨ小「キ」シヤア  
「アイス」ガ其ヲ見ナス今彼ハ彼ノ小サキ嘴ニ於テ其ヲ取リ上ケ而シテ其ヲ吞ム此  
ノ仕方ニ於テ彼女ハ一ツ一ツヲ養フ各々分ケ前ヲ得ル

(10) 雛ガ彼女ノ翼ノ下ニ在ル時ニ彼等ノ或ル者ハ彼等ノ小サキ頭ヲ振り出ステアラフ  
或ル者ハ出テ彼女ノ背ニ於テ上ニ飛ビ而シテ其ノ所ニ坐ルデアラフ

(11) 何ント善キ親切ナル母テ老エタル雌雛ガ有ルヨ彼女ハ常ニ彼女ノ雛ニ付テ考ヒル  
彼女ハ彼等ノ爲メニ善クアル所ノ各々ノ者ヲナス而シテ食ヒ而シテ遊ブ彼等ヲ見  
ル可ク好ム

(12) 若シモ蛇ガ彼等ニ害ヲナスベク近ク來ル片ニ彼女ハ其ニ於テ飛ビ付キ而シテ其ノ目  
ヲ啄ク

第二十章 「シナルシ」ノ徘徊

(1) 或ル好キ朝ニ小サキシタルシハ徘徊ヲ取ル可ク出カケシ而シテ道ノ側ニ因テ彼ガ雌牛  
ニ出合ヒシ

(2) 「ア」チハヤフ雌牛ヨト「シナルシ」カ云シ然シナカラ老ニタル雌牛カ彼ニ迄テ云  
フデアラフ總テハ「ム」々デアリシ

(3) 直ニシタルシカ母アヒルト而シテ五ツノ子アヒルカ水ニ於テ泳キ廻リツ、有リシ所  
ノ小サキ池ニ迄テ來リシ



- (4) ナハヤズアヒル君ヨトシナルジガ云シ今日汝ハ如何ニナシタカ然シナカラアヒルハ唯彼女ノ大ナル口ヲ開キ面シテ云シクアツク〜ト云シ彼女ノ能フダケ左様ニ聲高ク、然ル片ニ彼女ノ五ツノアヒル子ト共ニ彼女ハアテラニ泳キシ
- (5) 可ナリ速ニシタルジガ小キ鶯色ノ犬ニ出合シ小キ犬ハ亦徘徊ヲ取リツ、アリシ
- (6) 此ハ結構ナル日テアル善キ犬ヨトシタルジカ云シ然シナガラ犬ハ唯ハウウチフト吠ヒシ然ル後ミアテラニ走リシ
- (7) 然ル片ニ大ナル長キ頸ノ七面鳥ノ外誰カ浴テ來ルテアラフカチー私如何ニ傲慢テ汝ハ有ルヨトシタルジカ云シ然シナカラ私ハ何が汝ニ付テ何が成ルデアラフカチ知ル或ル日私ノ母ガ寵ニ於テ汝ヲ燒クデアラフ而シテ吾々ハ晝飯ニ向テ汝ヲ食フデアラフ
- (8) 然シナガラ老エタル七面鳥カ云フデアラフ總テハゴツブル々デアリシ而シテ彼ハチラニ歩ミシ而シテ數ノ中ニ隠レシ

- (9) 遂ニ小キシタルシハ休ム可ク石之上ニ座セシ而シテ彼ハ木ニ於テ彼ニ於テ見テロス所ノ黒キ鳥ヲ見付ケシ
- (10) ナー汝ハ惡シキ鳥ヨト彼ガ云シ汝ハ吾々ノ玉蜀黍ヲ食ヒツ有ツタ私ノ父ハ若シモ汝ガ再ビ來ルナラハ汝ヲ射ルデ有フ
- (11) 然シナガラ老エタ鳥ガカウ々ト叫ビツ、而シテ然ル後ニシタルジカ話シタ所ノ者チ他ノ鳥ニ話ルベク飛ビ去リシ
- (12) 左様ニ汝ハ見ル小キ「シタルジ」ハ雌牛而シテアヒル而シテ犬ト而シテ七面鳥而シテ鳥ニ迄テ語リシ
- (13) 然シナガラ彼等ハ小キシタルジニ云タデ有フ所ノ總テハムー々而シテラツク々而シテハウ々而シテゴツブル々而シテカウ々デアリシ其レ故ニ彼ハ彼ノ徘徊ト而シテ彼ノ話ニ付テ彼ノ母ニ話ル可ク家ニ走リシ

第三十一章 私ニ付テ歌ヲ歌ヒ



- (1) 木ニ於ケル小サキコマ鳥ガ私ニ迄テ歌ヲ歌フ園ノ園ニ於ケル薔薇ノ廻リニ歌フ鳥  
ニ付テ囀レ丈高キ木ノ頂上ニ於ケル巢ノ廻リニ歌フ
  - (2) 空ニ於テ上ニ小キ雲雀ガ私ニ迄テ歌ヲ歌フ空ニ於テ遙カ隔リテ雲ニ歌ヒ廻ル汝ハ  
其處ニ呼ビツ、行ク片ニ汝ノ小兒ハ叫ヒナスカ
  - (3) 生垣ニ於ケル小キ白頭翁私ニ迄テ歌ヲ歌ヒ山ニ歌ヒ廻リ海ニ歌ヒ廻リ蒸氣船ニ歌  
ヒ廻リ其處ニ私ニ向テ一ツガアル
  - (4) 野ニ於テ黒キ黒鳥私ニ迄テ歌ヲ歌フ玉蜀黍ト而テ蠶豆ヲ植ニタル所ノ百性ノ廻リ  
ニ歌フ刈リ稻ニ歌ヒ廻ル私ハ其ガ何チ意味スルカナ知ル
- 第三十二章 汝ハ泳キ能フカ
- (1) 如何ニ私ハ私ガ飛ビ能テ願フ叔父ヨ私ノ「ハレ」ヲ見ヨ如何ニ彼等ハ空ニ於テ上ニ  
飛フヨ
  - (2) 然リハアリー其ハ鳥ニ均シク空ヲ通シテ飛ブベク結構ナル慰ミデアアルデアラウ然

- シナカラ其チナシ能ハヌ吾々ハ其ニ向テ正キ形ヲ持タヌ又尙ホ若シモ吾々が空氣  
ヲ通シテ泳キ能ハヌナラハ吾々ハ水ヲ通シテ泳キ得ル汝ハ如何ニ泳ク可キカナ知  
リナスカ
- (3) 否未タ知ラヌ叔父ヨ
  - (4) 好シハアリーヨ汝ハ學ハチハナラヌ各々ノ童子ト而テ娘ハ泳ク可ク學ハチハナラ  
ヌ汝ノ從弟ノ「タム」ハ泳キ能フカト私ハ考エル
  - (5) 然リタムハ美シキ泳キ者テ有ル彼ハ水ニ於ケル總テノ藝ヲナシ能フ彼ハ彼ノ  
背ニ於テ泳キ能フ彼ハコソリ能フ彼ハ彼ノ手ヲ動スナシニ泳キ能フ
  - (6) 彼ノアゴニ迄テ近ク彼ノ膝ヲ以テグルくく廻リテ泳キ能フ彼ハ大ニ均シク泳  
キ能フ彼ハ彼ノ足ヲ以テ水ヲ打チ能フ
  - (7) 只今考ヒヨ然ハ若シモ汝等二人ガ深キ水ニ於ケル船ノ中ニ有リシナラハ而テ船ハ  
覆ルデアラウカラ考ヒヨ彼ハコクシニ均シク浮ブデアラウ然シナガラ汝ハ溺レル



デアラフ

- (8) 其ハ左様デアアル叔父ヨ私ハ決シテ前ニ其ニ付テ考エナサヅリシ私ハ吾々ガ沐浴ニ行ク次ノ時ニ如何ニ泳クベキカヲ吾々ニ示ス可ク從弟ニ願フデアラフ
- (9) 左様ニナセ私ノ童子モ其ハ學ブ可ク甚タ容易クアル私ハ蛙ヲ氣付ケル事ニ因テ泳クヲ學ビシ所ノ人ニ付テ聞ク彼ハ水ノ皿ノ中ニ其ヲ置キシ然ル後ニ部屋ニ於テ彼自身ヲ置キシ蛙ガナスヲ見シ通り丁度彼ノ腕面シテ脛ヲ以テ打テシ
- (10) 其ガ昔時ローマニ於テ讀ミ而シテ泳キ能ハヌ所ノ人ハ愚テアラテ子バナラヌト云フ  
「カ云ハレテアリシ

第二十三章

演習ノ文 第一

梟ハ何時最モ能ク見能フ乎」夜ニ於テ然リ梟ハ太陽ヨリハヨリヨク月ヲ愛スル」  
 猫モ亦暗黒ニ於テ見能フ  
 如何ニ櫻ノ實カ木ヨリナリ下ルカナ見ヨ」汝ハ或ル物ヲ持ツテ有フ乎」若シモ汝カ好ムナラバ」  
 善シ「メー」ヨ汝ノ籃ヲ取レ而シテ私ハ汝ニ向テ其レニ充ステ有フ  
 私ノ愉快ナル男子等ヨ若シモ汝カ新蘇ナル冷タキ水ノ外何物モ呑マヌナラバ汝ハヨク賢ク而シヨリ富ンテ有ルテ有フ  
 來レ而シテ此ノ美シキ朝ニ散歩テ取レ」我々ヲシテ出テ行キ而シテ囀ル雀而シテ歌フ  
 知更雀ヲ聞カシメヨ  
 鴨ハ何ヲ言ヒ爲ス乎」犬ハ何ヲ言ヒ爲ス乎」吐綴鷓ハ何ヲ言ヒ爲ス乎」牝鷓ハ何ヲ言



ヒ爲ス乎」鳥ハ何ヲ言ヒ爲ス乎」知更雀ハ何ヲ歌ヒ爲ス乎」  
小サナル雲雀ハ空ニ於テ遙カ上ニ歌フ」其レハ愛ヲシキ音<sup>子</sup>ヲ爲ス」知更雀ハ花園ノ  
壁ノ上ノ薔薇ニ歌ヒ廻ハル

第二

汝ハ泳ク蛙ヲ注視スル事ニ依テ泳ク可ク學ビシ所ノ人ニ就テ聞キ爲セシ乎」其ハ如  
何ニ泳ク可キカヲ學フ可ク奇妙ナル仕方テ有ラサリシ乎  
「グレイース」ト而シテ私ハ泥ノ菓子ヲ造ルトニ於テ遊フ可ク好ム」我々ハ屋板ノ上ニ  
彼等ヲ燒ク」然ル時ニ我々ハ言フ熱キ泥ノ菓子ヨト中飯ニ向テ鈴ヲ鳴ラセ  
彼ノ爪ニ於テ筆ヲ持タル梟ヲ見ルトハ面白ク有ラヌ乎

第三十四章 鵝而ノ黄金ノ卵

(1) 或時(ナン、エ、タイム)一度其處ニ彼カ付テ澤山(エグレート、デイル)考ヒシ鵝  
ヲ持チシ所ノ人カ有リシ」而シテ能ク彼ハ左様ニ爲シタテ有フ如何トナレハ此カ

嘗テ生活セシ所之最モ奇妙ナル鵝ヲ有リシ故ニ

(2) 毎日彼ノ女バーノ卵(アン、エッグ)ヲ産ミシ」其處ニ其レニ付テ奇妙ナル何ニモガ  
有ラヌト汝カ言フテ有フ」ア」然シナカラ此鵝カ産ミシ卵ハ實質ノ黄金ヲ有リシ」  
其ニ付テ考ヘヨ

(3) 日々(デー、アフター、デー)此ノ奇妙ナル鳥ハ彼女ノ主人ニ向テ輝ク所ノ黄金ノ卵  
ヲ産ミシ」其レハ何故ニ彼カ左様ニ多ク鵝ヲ好ミシカデアリシ」彼レカ市場ニ於テ  
此等ノ卵ヲ賣リ爲サザリシヲ汝ハ慥カメテアルデ有フ」彼ハ賣ラサリシ(ナット)  
彼ハ大ナル鎮ノ箱ノ中ニ注意シテ彼等ヲ藏クセシ(ヒツテ、エウエー)

(4) 毎日彼レハ鵝ノ巢ニ於テ輝ヤイタル新シキ黄金ノ卵ヲ見出セシ而シテ其ヲ唯積ニ  
加ヘシ」彼ハ過キ去ル可ク夜ニ而シテ來ル可キ朝ニ向テ辛フシテ待チ能ヒシ事程左  
様ニ彼レハ之ヲ得ル可ク喜ンデアリシ」各ノ日カ彼レニ迄一週(エ、ウィーク)ノ如  
ク左様ニ長ク見エシ



- (5) 彼カ鏡ノ箱ノ中ニ益々高ク(ハイアル、エンド、ハイアル)成ル所ノ堆壘<sup>ツミカセテ</sup>ヲ見シ時ニ彼ハ喜ビテ以テ彼ノ手ヲ摩リシ「彼ハ彼レ自身ニ逸言ヒシ、アー若シモ其レカ唯タ充テ有リシナラハ私ハ世界ニ於テ最モ富シタル人テアルデ有フ
  - (6) 彼レハ彼ノ黄金ノ堆壘ノ外何物ニ付テ考ヘ能ハサリシ「遠ニ(エツト、ラスト)彼ハ一度ニ(エツト、ワンス)總テ彼ノ黄金ヲ要セシ事程左様ニ彼カ貪欲ニ成リシ」彼ハ鷄ノ身体ノ中ニ卵ノ澤山ヲ見出テ有フ而シ最早(エニ、センガー)待チ而シ待チ而シ待ツ可ク持タヌデ有ルト考ヘシ
  - (7) 其故ニ一日(ワン、デー)彼ハ驚ク可キ鳥ヲ殺セシ「然シナカラ彼カユリ多クノ卵ニ向テ眺ル可ク來リシ時ニ倍<sup>サ</sup>テ其處ニ見出サレルベク何ニモカ有ラザリシ」
  - (8) 愚ナル人ヨ「彼レハ黄金ノ卵ヲ産ミシ所ノ鷄ヲ殺シタリキ
- 作文課 答テ書ケ
- 鷄ハ毎日黄金ノ卵ヲ産ミ爲セシ乎

人ハ大ナル鏡ノ箱ノ中ニ彼等ヲ藏シ爲セシ乎  
 彼ハ一度ニ總テノ黄金ノ卵ヲ要シ爲セシ乎  
 其故ニ彼レハ鷄ヲ殺シ爲セシ乎  
 彼レハ愚ナル人デ有リシ乎

第二十五章 愉快ナル春

- (1) 愉快ナル春ヨ汝ハ歌フ可ク小サナル鳥ヲ携<sup>モチカイ</sup>歸ルテ(ブリック、ブエック)有フ乎私ハ悲シテアル、私ヲシテ喜ハシメヨ温和ナル愉快ナル笑フ所ノ春ヨ、
- (2) 冬ノ雪カ直チニ小山而シ谷底(ヴェルス、ビーロー)カラ消ユルデ有フ然ル時ニ汝ノ雨カ花ヲシテ總テ山腹<sup>サンブク</sup>(ヒル、サイツ)ノ上ニ生長セシムルテ有フ
- (3) 「母」カ言ヒシ彼レ等ハ死シテ有ラズ唯々彼等ノ臥床<sup>キトコ</sup>ニ於テ眠ルナリ春ノ雨カ再ヒ來ル時ニ各々カ其レノ小ナル頭ヲ上ゲルテ有フ

第二十六章 十テ算ル<sup>カレン</sup>



- (1) 「フレッド」ノ叔母カ新シキ鍬而シ種子ノ小サナル箱ヲ彼レニ與ヘシ「彼シカ鍬ヲ得シヤ否ヤ(アス、スウーソ、アス)彼ハ家ノ後ニ於ケル彼ノ所有ノ小サナル花園ニ於テ其ヲ以テ堀ル可ク出テ行キシ
- (2) 彼ノ女兄弟ナル「ジエーン」ハ種子ノ箱ヲ持ツ可ク彼ト共ニ行キシ而シテ彼カ堀ル時ニ彼女ハ彼ニ近ク立チシ而シテ彼レニ迄話セシ
- (3) 「フレッド」ハ速ニ而シテ能ク彼ノ仕事ヲ爲セシ
- (4) 然シテカラ「ジエーン」カ話シ、ツ、立チシ時ニ彼女ハ種子ノ箱ヲ落セシ「箱ノ蓋カ離レシ(ゲーム、チフ)而シテ總テノ種子カ地面ニ迄落チ出テシ
- (5) 惘然ナル「ジエーン」ハ善キ親切ナル女兒テ有リシ「其故ニ彼女ハ言ヒシ親愛ナル「フレッド」ヨ如何ニ私ハ悲シテアルヨ」然シテカラ「フレッド」ハ彼ノ女ニ迄話シ爲サマリシ
- (6) 彼女カ言ヒシチ「フレッド」ヨ何故ニ汝ハ私ニ迄話シ爲サヌ乎

- (7) 私ハ十ヲ計ヒ能ヒシ迄私ハ待チツ、有リシ
- (8) 「ジエーン」カ言ヒシ十ヲ計フルヨ汝ハ何ヲ意味シ爲ス乎何物カ汝ヲシテ十ヲ計ヒセシムルカ
- (9) 猶テ叔母ハ私カ怒ツテ有リシ時ニ私カ話ス前、常ニ十ヲ計フル可ク一度私ニ話セシ
- (10) チ「フレッド」ヨ如何ニ善ク汝カ有ルヨ」然シテカラ見ヨ私ハ再ビ總テ彼等ヲ拾ヒ上ケク」來レ我等ヲシテ彼等ヲ植エシメヨ左様ニ彼等ハ畝ニ於テ種子ヲ置キシ而シテ毎朝(イブリー、モーニング)小供等ハ小サナル綠色ナル植物ニ向テ注視スル可ク行キシ
- (11) 遂ニ彼等ハ地面ノ上ニ芽ヲ出シ而シテ彼等カ愛ラシキ輝キタル花ヲ以テ覆ハレテ有シ迄益々大キク(ラーシール、エンギ、ラーシール)生長スル彼等ヲ見シ

石盤上ノ課



汝カ怒リタル言語ヲ話ス前ニ十ヲ算ヘヨ」然ル時ニ若シモ尙ホ汝カ怒テアルナラハ再ヒ算ヘヨ、

第三十七章 我々ノタツビー

(1)「タツビー」ハ誰テ有ル乎」緒テ「タツビー」ハ我々ノ愛スル老ヒタル猫テアル」私ハ如何ニ我々カ彼ノ女ヲ失ヒシカ而シテ如何ニ我々カ再ヒ彼ノ女ヲ見出セシカナ汝ニ話サチバナラヌ

(2)一日(ワン、デー)愛シタル「タツビー」カ見失レテ有リシニ乳汁ノ彼女ノ血カ隔ミニ在リシ然シナカラ「タツビー」ハ其ヲ飲ム可ク來ラザリシ」其ノ夜「タツビー」ハ彼女ノ安スラカナル小サナル臥床ニ於テ捲キ縮メル(カール、アツプ)可ク入り來ラザリシ  
(3)何處ヘ彼女ガ行ヘタ乎」何處ニ彼女有リ能フ乎」誰レモ(イ、ワン)話シ能ハサリシ次キノ日我々ガ朝飯ニ迄下リ行キシ時ニ「タツビー」ハ我々ニ迄グッド、モーニ

グト鳴ク可ク來ラザリシ

- (4)一兩日ノ(エ、デー)、ナル、トウ)後ニ料理人ガ言ヒシ、我々ハ再ヒ歸リ來ル所ノ甘日鼠ヲ持ツテ有フ」彼等ハ速ニ「タツビー」ガ行テアル事ヲ見出ステ有フ」我々ハ他ノ猫ヲ得ネバナラム
- (5)母カ言ヒシ然リ我々ハ他ノ猫ヲ得チバナラム
- (6)他ノ猫カト我々カ總テ叫ヒ出サセシ愛シタル老ヒタ猫ハ決シテ歸リ來リツ、有ラサリシ乎」我々其ニ就テ考フル可ク堪ヘ能ハザリシ
- (7)我々カ左様ニ悲シミツ、アリシ時ノ丁度此ノ時ニ於テ我々ハ戸ニ於テ搔裂ヲ聞キシ
- (8)如何ニ急ニ我々カ總テ我々ノ椅子ナラ跳ヒシヨ」私ハ小サナル「ナット」カ落チ爲サザリシヲ驚ク如何トナレハ彼ハ彼ノ大椅子ニ於テ坐シツ、有リシ而シテ彼ハ彼ノ前面ニ於テ横木ヲヌキシ故ニ



(9) 善シ我々ハ戸ヲ開キシ而シテ其處ニ「タツビー」ガ有リシ彼女ノ口ニ於テ新シキ小猫ヲ持ツテ」彼女ハ下ニ之ヲ置キシ而シテ走り出テシ而シテ直ニ他ノ者ヲ以テ歸リ來リ

シ

(10) 如何ニ我々ハ總テ再ヒ歸ル我々所有ノ老ヒタル「タツビー」ヲ持ツ可ク喜ンテ有リ

シヨ

作文ノ科

汝ノ答ヲ書ケ

「タツビー」ハ見失レテ有リシ乎

彼女ハ一兩日ニ於テ戻リ(カム、バック)爲セシ乎

彼女ハ彼女ト共ニ二疋ノ小猫ヲ携來リ爲セシ乎

第三十八章 可笑キ學校

(1) 汝ハ支那ノ學校之畫ヲ見爲ス乎」如何ニ奇怪ニ之レカ見ユルヨ」彼レノ可笑キ衣服

ニ於テノ教師及東髪ニ於テ結ヒタル(ダン、アップ)彼等ノ髪ヲ持ツ男子等ヲ見ヨ

(2) 汝ハ教師ニ迄彼ノ背ヲ以テ立キツ、アル(スタンディング、アップ)所ノ男子ヲ見爲

ス乎」彼ハ彼ノ目課ヲ暗誦シツ、アル

(3) 支那ノ學生ニ常ニ彼等カ暗誦スル時ニ其仕方ニ於テ立ツ」彼等ハ左様ニ爲ス可ク

教ヒラレテアル面シテ彼等ハ其レカ禮儀トアルト考フル

(4) 男子等ノ一人ハ彼ノ前ニ於テ小サナル算盤ヲ持ツ」彼ハ計フル可ク而シテ加フル可

ク而シテ減スル可ク學ヒツ、有ル」其處ニ算盤ニ於テ小サナル珠即チ玉カ有ル」其レ

ハ支那人カ算術ニ就テ學ブ唯々一ツノ(チンリー)法方テアル

(5) 總テノ他ノ小兒等ハ彼等ノ日課ヲ勉強シツ、有ル」彼等カ之ヲ爲ス仕方ハ甚タ可

笑シク有ル」彼等ハ總テ彼等ノ音聲ノ頂上ニ於テ聲高ク勉強スル(スダデー、アウ

ト)

(6) 如何ナル響チ彼等カ爲サネハナラヌ」汝ハ如何ニ小兒等ガ箇様ナル騒カシキ學



校ニ於テ總テノ物ヲ學ヒ能フカヲ驚キ爲サヌ乎(ドント)

第三十九章 世界ニ於テ最モ美シキ人形

私ハ一度愛ラシキ小サル人形ヲ持チシ世界ニ於テ最モ美シキ人形ナリ彼女ノ臉カ左様ニ赤ク而シテ左様ニ白ク有リシ而シテ彼女ノ頭髮ハ左様ニ美シク擧テ有リシ然シナガラ私ガ一日野ニ於テ遊ヒシ時ニ私ハ私ノ惘然ナル小サナル人形ヲ失ヒシ而シテ私ハ一週ヨリハ多ク彼女ノ女ニ向テ泣キシ然シナガラ私ハ決シテ何處ニ彼女カ横ハルカヲ見出シ能ハザリシ、私カ一日野ニ於テ遊ヒシ時ニ私ハ私ノ惘然ナル小サナル人形ヲ見出セシ

彼等ハ言フ彼女ハ驚クベク變シテ有ル如何トナレハ彼女ノ彩色カ總テ濯ヒ去ラレ(ウチツシド、エウエー)而シテ彼女ノ腕カ牝牛ニ依テ踏ミ離サレテ(トロドツン、テツフ)而シテ彼女ノ頭髮カ少シモ(リースト、ビット)擧テ有ラヌ故ニ設合ヒ(イエト)舊ヒトハ雖ヒ彼女ハ尙ホ世界ニ於テ最モ美シキ人形テアル

作文ノ科

書キ而シテ問題文ニ迄變ヒヨ左ノ如ク(ザス)

彼女ノ臉ハ赤ク而シテ白ク有リシ乎

彼女ノ臉ハ赤ク而シテ白ク有リシ

彼女ノ頭髮ハ美シク擧レテ有リシ

私ハ私ノ惘然ナル小サナル人形ヲ失ヒシ

彼女ハ尙ホ世界ニ於テ最モ美シキ人形テ有ル

第四十章 惘然ナル「ボッビー」ヨ

(1) ナー姉ノ「ネル」ヨ此ノ愛ラシキ小サナル知更雀ニ於テ眺メヨ、「フランク」ハ係蹄ニ於テ彼ヲ捕ヘシ而シテ私カ二階ノ(アップ、ステエヤ)美シキ籠ニ於テ彼ヲ置ク可ク行キツ、有ル

(2) 知更雀ハ牢ニ於テ生活シ能ハヌ「メエリー」ヨ「彼等ハ開キタル空氣而シテ輝キタル



日光ノ小供等テ有ル

(3) 然シナカラ私ノ知更雀ハ左様ニ幸テ有ルテ有フ「私ハバルドシード而メ虫ノ澤山  
ヲ彼ニ與フルテ有フ」私ハ彼カ生活スルデ有フヲ慥メテ有ル

(4) 「メエリー」ハ籠ニ迄鳥ヲ置キシ然シナカラ其ハ食物ニ於テ眺メヌテ有フ其ハ唯々  
鏡線ニ對シテ其レノ胸ヲ打チシ

(5) 小サナル女兒カ言ヒシ決シテ留<sup>キツケ</sup>心ルナヨ彼ハ直ニ其レニ迄慣レテ有ルテ有フ「而  
メ左様ニ彼女ハ臥床ニ迄行キシ

(6) 次ノ朝彼女ハ彼女ノ知更雀ヲ見ル可ク行キシ「如何ニ變シテ彼ガアリシヨ」彼ノ輝  
キタル黒キ目ガ閉シテ有リシ而メ彼ノ羽毛ガ破レテ有リシ然シナガラ彼ハ尙ホ彼  
ノ牢ノ横木ニ對シテ彼ノ小サナル胸ヲ打チツ、有リシ

(7) 彼ハ言フ可ク見ユル私ヲシテ日光ニ迄出テシメヨ私ヲシテ日光ニ於テノ私ノ朋友  
ニ迄出テシメヨ

(8) 「テル」カ言ヒシ彼ヲシテ出サシメヨ然ラサレバ彼ハ死スルテ有フ

(9) ナ「否彼ハ死セヌテ有フ彼ハ彼ノ籠ニ於テ全キ日在ツタ」明日ニ依テ彼ハ其レニ  
迄慣サレテ有ルテ有フ

(10) 次ノ朝「メエリー」ハ再ヒ彼女ノ鳥ニ於テ眺ル可ク行キシ「彼ハ甚ダ靜ニ横ハル而  
メ小サナル女兒ハ喜ンテ有リシ如何トナレハ彼カ彼ノ籠ニ迄今慣レテ有リト彼女  
カ考ヘシ故ニ

(11) 「ボツビ」ヨ「ボツビ」ヨト彼女カ彼ニ迄話セシ

(12) 然シナカラ彼ハ仰<sup>アツ</sup>キ見<sup>ル</sup>ツシ、アツプ)爲サザリシ彼ハ動キ爲サザリシ「彼ハ今  
彼ノ牢ニ向テ何物モチ注意セザリシ」惘然ナル「ボツビ」ハ遂ニ(エツト、ラースト)  
自由テ有リシ「彼ノ小サナル心カ破レタリキ

第四十一章 難キ日課

(1) 「メーリー」カ言ヒシ此ノ日課ハ左様ニ難ク有ルヨ私ハ其ヲ學ヒ能ハヌ而メ私ハ試



ミルヲ欲セヌ(ウチント)

(2) 彼女ノ母カ言ヒシ私ノ小兒ヨ若シモ汝ガ試ミヌデ有フナラバ如何ニ汝ハ汝ガ其ヲ學ヒ能ハヌヲ知り爲ス乎

(3) 「メーリー」カ言ヒシ其ハ難ク見ユル而シテ私ハ試ムル可ク其レカ無用テ(イ、ユーズ)有ルヲ知ル「設令ヒ(イエブン、イフ)私カ試ミ爲セシトモ私カ決シテ之ヲ通シテ得ヌデ有フ程左様ニ其カ長ク有ル

(4) 「メエリー」ハ怠惰ナル女兒テ有ラサリシ然シナガラ彼女カ日課ヲ學ヒ能ハザリシ事ヲ彼女ハ彼女ノ心ニ定メ(メード、アツプ)タリキ「彼女ハ其レカ難ク見ユシ故ニ丁度其ヲ打棄テ(ギブン、アツプ)タリキ

(5) 彼女ノ母ハ須臾ノ(エ、シタルト、タイム)間タ最早言ハザリシ然シナカラ直ニ彼女ハ再ヒ彼女ノ書物ヲ取り(テーク、アツプ)而シテ恰モ(アズ、イフ)彼女ハ彼女カ其ヲ知リシヲ欲セシカノ如ク日課ニ於テ眺ムル「メーリー」ヲ見シ「然ル時ニ彼女カ言

ヒシ「メーリー」ヨ汝ハ嘗テ一里ヲ歩ミ爲セシ乎

(6) テ「然リ母ヨ甚ク褒々ナリ

(7) 汝ハ一度ニ總テ其ヲ爲シ爲セシ乎

(8) 否私ハ段々ハステップ、ハイ、ステップ)之ヲ爲セシ

(9) 然ラハ其仕方ニ於テ日課ヲ試ミヨ一度ニ(エ、タイム)一部分ヲ學ベ而シ若シモ汝カ續ケルナラバ汝ハ速ニ總テ其ヲ知ルテ有フ

(10) 「メーリー」ハ彼女ノ母カ彼女ニ話セシ通り爲セシ而シテ一時間(エン、アワー)ヨリハ少キ中ニ(イン)彼女ハ彼女ノ日課ヲ知リシ

(11) 汝カ試ミク迄決シテ汝ハ總テノ物ヲ爲シ能ハヌト言フナ「此等ノ數行ニ就テ考ヘヨ

若シモ最初ニ汝カ成就シ爲サヌナラバ試ミニ再ヒ試ミヨ

作文ノ科



汝ノ答ヲ書セヨ

「メーリー」ハ學ヲ可ク難キ日課ヲ持チ爲セシ乎

彼女カ其ヲ學ヒ能ハザリシ事ヲ彼女ハ彼女ノ心ニ定メタリシ乎

彼女ノ母ハ若シモ彼女カ嘗テ一度ニ總テ一里ヲ歩ミシカチ彼女ニ尋テ爲シシ乎

「メーリー」ハ彼女カ段々其ヲ爲セシ事ヲ言ヒ爲セシ乎

「メーリー」ノ母ハ其仕方ニ於テ彼女ノ日課ヲ試ムル可ク小サナル女兒ニ話シ爲セシ乎

「メーリー」ハ一時間ヨリハ少キ中ニ彼女ノ日課ヲ知り爲セシ乎

第四十二章 「ブリンドル」而シ「ベッス」

(1) 「ブリンドル」ハ白ク黒ク而シ赤ク斑テ有ル「ベッス」ハ彼女ノ頭ニ於テニツノ曲リタル角ヲ持ツ

(2) 晝カ終テ有ル時ニ晩方カ來ル時ニ「ブリンドル」而シ「ベッス」ハ家ノ方ニモドル

(3) 彼等ハ横木ニ依テ止ル而シ女兒カ彼等ノ乳桶ヲ持來ル迄彼等ノ尾ヲ打ツ

第四十三章 演習ノ文 第一

黄金ノ卵ヲ産ミ能ヒシ所ノ其ハ驚ク可キ鵝テ有ラサリシカ」其ハ私ニ向テノ鵝テ有ル」然シナカラ話ハ眞實テ有ル乎」誰カ話シ能フ乎

母ハ言シ花ハ死シテ有ラヌ春ニ於テ彼等ハ戻ルテ有フ

我々チシテ行キ而シ或ル種子ヲ蒔カシメヨ」然ル時ニ毎日我々ハ地面ノ上ニ萌芽ス

ル小サナル緑色ノ植物ニ向テ注視スルテ有フ

汝ハ皿ニ於テノ或ル乳汁ヲ小猫ニ與フルテ有フ乎

彼女カ喜ンテ有ル故ニ彼女ハ汝ニ迄鳴クテ有フ

第二

籠ハ知更雀ニ向テハ牢テ有ル」若シモ汝カ其處ニ彼ヲ保ツナラバ彼ハ彼ノ心ヲ破ルテ有フ



此處ニ「ブリンドル」ト而メ「ベツス」カ來ル「彼等ノ乳桶ヲ携チ來ル可ク女兒等ニ話セ汝ハ總テ一度ニ一里ヲ歩ミ能フ乎」チ「否我々ハ段々其ヲ歩マテハナラヌ」而メ其ハ我々カ我々ノ日課ヲ少シツ、(リットル、バイ、リットル)ハ學ハチバナラヌ仕方テ有ル

第四十四章 嬰兒

- (1) 視ヨ小サナル嬰兒ヲ幸ナル嬰兒テ彼カ有ルヨ彼ノ顔ハ如何ニ輝クヨ彼ノ心ハ如何ニ輕ヒヨ彼ノ椅子ハ彼ノ母ノ膝ナリ
- (2) 彼ノ唇ハ赤ク有ル彼ノ齒ハ眞珠ノ如ク有ル愛ラシキ者ヨ彼ハ唯ニツ持ツ彼ノ黄金ノ如キ髪ハ如何ニ柔ク而メ美シヒヨ彼ノ眼ハ如何ニ輝キ而メ青ヨ
- (3) 彼ノ小サナル手ハ白ク而メ肥ヒテ有ル而メ彼ノ衣服ノ下ニ彼ノ小サナル足趾カ醒メ或ハ眠リテ有ル如何ニ狡猾ニ彼等カ窺見スルヨ

第四十五章

人形ノ茶會 第一篇

- (1) 其處ニ「ファーマー」「ブラクマン」ノ最上樓ニ於テ茶會カ有リシ「農夫而メ彼ノ妻カ都會ニ迄行ヒタ而メ嬰兒ノ「ミン」ヲ注意ヲ取ル可ク小サナル「タイム」ト而メ「ラマン」ヲ留メシ其故ニ小供等ハ彼等カ茶會ヲ持ツテ有フト考ヒシ
- (2) 其ハ「ドル、デイ」ノ生誕日「ドル、デイ」ハ一歳老ヒタル黒キ嬰兒テ有リ而メ彼ハ泣キシ「彼ハ一週毎ニ生誕日ヲ持チシ
- (3) 「ドル、ミツ」ニ「青キ眼而メ黄キ捲毛ヲ持チシ彼女ハ茶會ニ迄招カレテ有リ
- (4) 「タイム」ハ大ナル錫ノ皿ヲ得シ而メ水ヲ以テ充分其レニ充タセシ「初メニ人形ハ帆走ル可ク取り出サレ可ク有リシ而メ然ル後ニ彼等ハ行厨ヲ持ツ可ク有リシ
- (5) 行厨ハ藥菓子而メニツノシアム「タート」デ有リシ肥ヒタル小猫ナル「タッピー」モ亦茶會ニ迄招カレテ有リシ



- (6) 小供等ハ小サナル卓子ノ上ニ「タツビー」ヲ置キシ其故ニ彼女ガ眺メ能フ爲メニ
- (7) 行厨カ古キ木箱ニ於テ置カレテ有リシ「小舟カ用意サレテ有リシヤ否ヤ（マス、スウエン、マス）」「ドル、デインクス」而シテ「ドル、ミツシエット」カ艸板ノ上ニ行キシ「小舟ハ「フアー」マ、アラウシ」ノ古キ上靴ノ一テ有リシ
- (8) 然ル時ニ人形カ帆懸ケ去リシ「タイム」ハ風櫃ヲ以テ風ヲ作りシ而シ「ファンニー」ハ彼女カ能ヒシ通り左様ニ強ク彼女ノ臉ヲ脹ラガセシ「アツフド、アフト」
- (9) 然シナガラ私ハ嬰兒ノ「ベン」カ避火ヲ以テ助クル可ク欲セシコトヲ汝ニ話サテハ「ナラス」左様ニ小供等ハ妖精ノ鬼女テ彼ガ有リタナラハヨク有ツタチ彼ニ話セシ「妖精ノ鬼女ハ常ニ木箱ニ於テ藏レシ而シテ正シキ時ニ於テ丁度跳ヒ出テシ
- (10) 「ベン」ハ云シ總テ正シク有リシト而シテ左様ニ彼等ハ木箱ニ於テ彼ノ爲ニ場所ヲ爲リシ「其處ニ小供等ハ彼カ眠ムル可ク行タチバナラムト考ヘシ事程左様ニ甚タ静ニ彼ハ保チシ

第四十六章

人形ノ茶會 第二篇

- (1) 總テ一度ニ（エット、ワンス）其處ニ聲高キハチカ有リシ而シテ小舟カ覆ヘツテ有リシ「其ハ全ク「タツビー」ナル肥ヘタル小猫カ皿ニ迄卓子カラチチタ譯デアリシ
- (2) 人形ハ泳キ能ザリシ其故ニ「タイム」而シ「ファンニー」ハ親切ニ水カラ彼等ヲ引出セシ「タツビー」ハ總テ沾レ滴タレツ、（ドリツピング、ウエト）階ヲ飛ヒ下リ逃ゲシ
- (3) 「ドル、デインクス」ハ空テ有リシ而シテ浮キ能ヒシ然シナカラ憫然ナル「ドル、ミツシエット」ハ溺レテ有リシ「彼女ノ美麗ナル清潔ナル衣服カ沾レ通シテ有リシ而シテ彼女ノ愛ラシキ頭髮カ總テ攣テ失ヒシ
- (4) 「ファンニー」カ言ヒシ今我々ハ厨ノ火ニ迄「ドル、ミツシエット」ヲ取ラチバナラム而シテ彼女ヲ乾サネバナラム否ラサレバ彼女ハ決シテ茶會ニ迄來ル可ク適當シテ



有ラステ有フ

(5)「タイム」カ言ヒシチ「否彼女ハ死シテ有ルヨ」然シナカラ私ハ彼女ヲシテ再ヒ生サシメ能フ」左様ニ彼ハ彼女ノ肋骨ノ間ニ風櫃ノ端ヲ置キシ而シテ丁度彼カ能ヒシダケ左様ニ強ク吹キシ

(6)「フェンニー」ガ知リシ最初ノ物ハ即チ彼女ノ耳ニ迄「ドル、シツシエツト」ノ方ナラ「アフト、チフ」銚屑ノ一吹カ吹キシ「ナリ」彼女ハ彼女ノ頭ヲ越ヘテ彼女ノ前垂ヲ投ゲシ而シテ泣ク可ク始メシ

(7)「タイム」ハ叫ビツ、續キシ彼女ハ再ヒ活キテ有ルヨ彼女ハ再ヒ活キテ有ルヨ」然シナカラ憫然ナル「ファンニー」ハ總テ強ク泣キシ「其故ニ「タイム」カ言ヒシ彼等ハ妖精ノ鬼女ヲ醒シ（ウエツ、アップ）而シテ行厨ヲ食フテ有フ

(8)然ル時ニ「ファンニー」ハ彼女ノ眼ヲ乾カセシ「彼等ハ徐ニ木箱ニ迄匍ヒ上カリシ」其處ニ熟眠シテ（ファスト、エスリープ）嬰兒ノ「ベン」カ横ハル

(9)其處ニ彼ノ上衣ニ於テ藥菓子而シテ「ファンム、タート」ノ屑カ有リシ而シテ彼ノ鼻ノ端ニ於テ「ファンム」ノ一片（エ、ビット）カ有リシ行厨カ總テ盡キテ有リシ「チ」汝惡漢ヨト「ファンニー」カ叫ビシ

(10)「ベン」ハ彼ノ青キ眼ヲ開キ而シ「タイム」而シ「ファンニー」ガ笑フ可ク持チシ事程左様ニ狡猾ニ眺メシ「然ル時ニ彼等ガ總テ言ヒシ次ノ時迄茶會ノ餘リヲ延バサ（アツト、チフ）シメヨ

第四十七章

「スタツファイ」ト而シ「スピットファイヤ」

(1)「ミストレッツスハスペツクル」カ七羽ノ美シキ雞ヲ以テ雞籠ニ於テシテ彼女ノ温カナル巢カラ來リシ

(2)柔軟ナル毳毛ノ小サナル者ハ「スタツファイ」ト而シ「スピットファイヤ」ノ外總テハ互ヒ互ニ（ワン、エナザ）迄温和而シテ親切テ有リシ



(3) 彼等ハ小サナル「デーシー」カ朝ニ於テ彼等ヲ養フ可ク出デ行キシ時ニ彼等ハ彼女  
カ投ケシ粉ヲ透ラテ走り而シ互ヒノノ啄クテ有フ事程左様ニ悪シク而シ貪リテ  
有リシ

(4) 或ル朝「スピットファイヤ」カ甚タ早く起キシ(ゴット、アップ)而シ花園ノ道ニ於テ  
美シキ肥ヒタル虫ヲ搜出セシ(アウト、スプアイ)彼カ考ヘシアーハ私ハ私自身  
ニ迄總テ善キ朝飯ヲ持ツテ有フ

(5) 然シナカラ「スタツファイ」モ亦虫ヲ搜出セシ而シ彼カ「スピットファイヤ」ノ口ニ於  
テ其ヲ見シヤ否ヤ彼ハ其ヲ引キ去可ク彼カ能ヒシ丈ケ左様ニ速ニ走リシ

(6) 彼等ハ長キ時ノ間虫ノ上ニ戰カヒシ而シ然ル時ニ互ヒノノ啄ツキツ、而シ「マム  
マ、マペツクル」カ急キ而シ彼等ヲ分ツ可ク持チシ如キ箇様ナル怒リノ聲ニ於テ鳴  
キ始メシ

(7) 惡シキ雞ハ互ヒノノ頸カラ毬毛ヲ啄キヌキシ「彼等ハ老タル牝雞カ彼等ニ就テ

全ク愧ヂテ有リシ如キ箇様ナル賤シキ者デ有リシ

(8) 「デーシー」ハ窓カラ總テ其ヲ見タリキ「其ハ小キ男子及ヒ女子ニ向テアリ如ク雞  
ニ向テモ互ヒノノ爭フ事ハ殆ンド左様ニ悪シク有シト彼女カ考ヘシ

(9) 汝ハ「デーシー」カ正シク有リシト考ヘ爲サヌ乎「私ハ汝カ爲スチ慥メテアル

作文ノ科

汝ノ答ヲ書ケ

如何ニ多クノ雞ヲ「ミストレッツス、スペツクル」カ持チ爲セシ乎「スタファイ」ト而シ  
「スピット、ファイヤ」ハ惡シク而シ貪リテ有リシ乎  
彼等ハ或ル朝何ニ就テ戰ヒ爲セシ乎  
彼等ハ互ヒノノ頸カラ毬毛ヲ啄キヌキ爲セシ乎  
如何ニ老ヒタル牝雞ハ其ニ就テ感シ爲セシ乎

第四十八章 浮戲



- (1) 鞠ハ其カ床ノ上ニ横ハル時ニ鞠ヲ有ル而シヨリ多ク何物デ有ラヌ如何ニ嚴肅ニ而シ静テ其形狀ガ有ルヲ見ヨ其處ニ浮戲ノ少シモ有ラヌ
- (2) 此ハ何テ有ル乎「アツシ」ノ觸カ左様ニ多ク静ナル物ヲ變シ能フ乎「起キル而シ廻ル而シ跳ヲ其ヲ見ヨ「アツシ」ハ其ヲシテ止メシメ能ハヌ
- (3) 跳ブ彼等ヲ見ヨ「躍ル彼等ヲ見ヨ」積重ニ於テ倒ルニ正ヲ見ヨ「今彼等ハ廻リ而シ今彼等ハ走ル私ヲ幸ニセヨ鞠ハ面白サニ就テ満チテ有ルヨ

第四十九章

「デーシ」ノ衣服ノ垂ニ充實ノ日光

- (1) 「デーシ」ハ甚タ悪シク有ツタリキ
- (2) 祖母カ贈物トシテ剪刀ノ小サナル「對テ彼女ニ與ヘタリキ而シ姉ノ「チレー、目」ニ彼等ヲ用ユ可キカヲ示シタリキ
- (3) 彼女カ彼等ヲ以テ紙ノ外何物モ「エニー、シヤンク」ト云フ

- レテ有リシ「三日ノ間」スナル「トウ」、ナル、スリ、デーヌ」彼女ハ石竹色ノ白キ紙カヲ「アウト、チフ」多クノ紙ノ人形ヲ切りジ「他ノ日彼女ハ藍色ノ紙ノ人形ヲ以テ彼女ノ「ノーア」ノ舟ニ満タセシ
- (4) 然シチガラ此ノ朝「デーシ」ノ剪刀カ姉ノ「チル」ノ絹ノ顔掛ケカヲ總テノ丸キ黒キ點ヲ切タリキ「其故ニ彼女ハ半時間「フタル、ハーフ、エン、アワー」母ノ裁縫椅子ニ於テ静ニ坐スル可ク成サレテ有リシ
- (5) 半時間カ坐シ而シ話サヌ可ク「デーシ」ニ向テ長キ時テ有リシ面シ僅ナル間毎ニ涙ガ彼女ノ臉ヲ轉ゴロカリナツ落ルテ「ロール、ダウン」有フ
- (6) 半時間カ過キ去タリキ時ニ母ハ彼女ノ涙ヲ拭ヒシ而シ言ヒシ今愛ラシキ者ヨ窓ニ迄來レ而シ我々ハ我々ノ面ニ於テ或ル日光ヲ得ルテ有フ
- (7) 私ハ「デーシ」ニ迄日光ヲ持來リシ所ノ小サナル天使ハ甚タ多ク彼女ヲ愛シタネハナラヌト私ハ思フ如何トアレハ彼ハ總テ彼女ノ面ヲ越ヒテ其ヲ注キシ故ニ彼女ノ



目ノ隅ニ於テ彼女ノ臉而シ總テ彼女ノ口ノ周リニ於テ

(8) 母モ亦日光ヲ捕ヘシ如何トナレハ彼女カ「デーシ」ノ顔ニ迄テ見下セシ時ニ私ハ其  
ヲ見ル母ヨ其ハ私ノニ迄汝ノ面カラ跳ヲト「デーシ」カ叫ケビシ故ニ

(9) 母ハ日光ヲ其ヲ呼ヒシ而シ左様ニ「デーシ」モ呼ヒ爲セシ然シナカラ私ハ其レガ幸  
ナル小サナル微笑テ有リシト考ヘル汝ハ爲サヌ平

(10) 或ル朝彼女ノ母ハ祖父ノ室ニ於ケル窓ニ依テ立ツ所ノ「デーシ」ヲ見出セシ而シ何  
卒愛スル太陽ヨ來リ私ノ前垂ニ於テ或ル日光ヲ置ケト柔カナル音聲ニ於テ言フ所

ノ彼女ヲ聞キシ

(11) 彼女ハ一ツノ手ヲ以テ前垂ヲ捧ケツ、(ホールデインク、アツプ)有リシ彼女カ其  
他ヲ以テ窓カラ日光ヲ招キシ間ニ「然ル時ニ日光ヲ失フ可クナク密ニ前垂ヲ保チ  
ツ、彼女ハ彼ノ安逸ナル椅子ニ於テ坐シツ、有リシ所ノ祖父ニ迄走リシ

(12) 「デーシ」ハ彼ノ腕ニ迄登リシ(クライムド、アツプ)彼女ノ前垂ヲ開キシ而シ彼ノ

面ニ於テ其ヲ搖リシ」然ル時ニ彼女ハ彼女ノ柔カナル手ヲ以テ彼ノ臉ヲ擦リシ而  
シ言ヒシ私ハ汝ノ面ニ於テ或ル日光ヲ擦リ付キツ、有ル祖父ヨ如何トナレハ汝ハ  
左様ニ悲ンデ見ユル故ニ

(13) 今彼ハ或物ヲ得タト「デーシ」カ言ヒシ

(14) 汝ハ彼女ノ祖父カ小サナル「デーシ」ノ幸ナル面ニ迄彼カ眺メシ時ニ日光ノ或物ヲ  
取ルヲ忍ビ能フト考ヘ爲ス手

第五十章 一時ニ(エ、タイム)於テ一ツノ物

(1) 汝カ働ク間働ケ汝カ遊フ間遊ベ其ハ愉快デ而シ活潑デ有ル可キ仕方ヲ有ル

(2) 汝カ爲ス何物ヲ汝ノ力ヲ以テ爲セ半途ニシテ止メタル物ハ決シテ正シク爲サレテ  
有ラヌ

(3) 一時ニ於テ一ツノ物而シ其テ能ク爲スヲハ多クカ話シ能フ通り甚タ善キ規則テ有  
ル



(7) 時ハ浪費セシ(トライフルド、ニウエー)時ニ無用ニ有ル其故ニ汝カ働ク間働ケ而  
ン汝カ遊ブ間遊ベ

第五十一章 「シチン、ラーキン」カ學ヒシ所ノ物

- (1) 「シチン、ラーキン」ハ成長スル物ヲ見ル事ヲ好ミテ有リシ所ノ小サナル男子テ有  
ル
- (2) 彼ハ美シキ小サナル花園ヲ持チシ其處ニ彼ハ彼カ植タ所ノ種子カラ生スル(カム、  
アツブ)小サナル植物ヲ注視シ能ヒシ
- (3) 間ニ牆ヲ以タル花園ノ傍ニ依テ牝鶏而シテニ向テノ庭カ有リシ
- (4) 「シチン」ハ彼等ノ巢ニ迄行ク而シテ彼等ノ卵ヲ産ム牝鶏ヲ見シ各ノ牝鶏ハ怡ンド  
毎日一ツノ卵ヲ産ミシ而シテ然ル時ニ彼女ノ巢カラ鳴キツ、來リシ「牝鶏カ十二ノ  
卵或ハヨリ多ク産ンダ時ニ彼女ハ解スヲ始メシ
- (5) 其ノ日ニ於テ唯一度彼女ハ巢ヲ去リ急ニ僅ノ食物ヲ喰ヒ或ル水ヲ飲ミ塵埃ノ中ニ

- 轉リ而シテ然ル時ニ彼女ノ巢ニ迄急キ歸ルテ有フ」時トシテハ彼女ハ二三日ノ間巢  
ヲ去ラヌテ有フ
- (6) 「シチン」ハ毎日(フロム、デー、トウー、デー)卵ヲ見シ然シナカラ彼ハ生長スル彼  
等ヲ見爲サザリシ
  - (7) 牝鶏カ十九日坐シツ、有ク後遂ニ彼ハ其レノ忍耐ナル母ノ傍ニ依テ立ツ所ノ肥ヒ  
タル輝ヒタル目ノ小サナル雛ヲ見シ
  - (8) 直ニ彼ハモ一ツ或ハ三ツヲ見シ而シテ次ノ日其處ニ老ヒタル牝鶏ノ後ニ走り廻ル  
所ノ十二ノ小サナル雛カ有リシ
  - (9) 其ノ後ニ「シチン」ハ喰フ而シテ生長スル彼等ヲ見シ而シテ其ノ年ノ終ル前ニ彼等ハ鳴  
ク所ノ牝鶏或ハ鳴ク所ノ雄鶏ニ成リシ
  - (10) 「シチン、ラーキン」ハ生長スル物ヲ見ルコトニ就テ左様ニ好ンデ有リシ故ニ彼ハ春  
ニ於テ一日或ル蠶豆ヲ植ヘシ



- (11) 彼ガ土面ニ於テ一ツヲ置ヒタ後二三日ニ(エ、フイエ、デース)蠶豆其ノ自身ハ短キ莖ニ於テ登リ上リシ(アツプ、ケーム)
- (12) 其ハ恰モ(アス、イフ)或物が下カラ上ニ其ヲ推シツ、有リシ彼ノ如ク見ヘシ然シナカラ上ニ其ヲ引キツ、有リシ所ノ物ハ上ノ空氣ニ於ケル光リト而シテ有リシ甚ク速ニ蠶豆ガ開キシ半分ハ(ワン、ハーフ)一ツ方ニ迄少シク越ヒテ懸リ而シ其半ハ他ノ方ニ迄少シク越ヒテ懸リシ「彼等ハ小サナル莖カラ生セシ(ストウツデ、アフト)小サナル植物ハ最初ノ二ツノ葉ナリ
- (14) 彼等ノ間ニ(アツプ、ヒートウイーン)莖カ生長ヲ始メシ(ウエント、チン)最初ニ小サシ然ル後ニヨリ大キク生長シツ、ヨリ多クノ葉カ出テ來リシ
- (15) 然ル時ニ花ガ植物ノ上ニ出テ來リシ「此等ノ花ノ内部ニ幼キ果實カ生長スルヲ始メツ、有リシ而シテ花カ落チシ(ドロップド、チツフ)時ニ視ヨ其處ニ花ガ有ツタ處ニ果實カ懸リツ、有リシ

- (16) 此ノ果實ハ何テ有リシ乎「倍テ其ハ蠶豆ノ莢デ有リシ」而シテ其莢ノ内部ニ蠶豆カ有リシ各ハ「シチン」カ植カダリキ所ノ物ニ等シクアリシ
  - (17) 「シチン」ハ如何ニ雛カ卵カラ來ルカ而シテ如何ニ果實ガ種子カラ來ルカナルニツノ甚ク驚ク可キ物ヲ學ヒタリキ
  - (18) 汝ハ「シチン、ラーキン」ハ開ヘテ彼ノ目ヲ保チシ所ノ男子テ有リシヲ見ル「彼ハ殆ンド毎日或ル新ラシキ而シテ奇妙ナル物ヲ見出セシ(ファウンド、アウト)...
- 石盤上ノ課業
- 植物ハ莖ヲ持ツ
- 植物ハ葉ヲ持ツ
- 植物ハ花ヲ持ツ
- 植物ハ果實ヲ持ツ



我々ナシテ茶會ヲ持タシメヨ「デーシ」ヨ

チ「然リ其ハ左様ニ面白シロク有ルデ有フ

我々ハ「ドル、デインクス」ヲ招クデ有フ乎

然リ我々ハ「ドル、デインクス」而シテ「ドル、ミツシエット」而シテ愛スル老ヒタル「ダツビ

ー」ヲ招クテ有フ

「ペービベン」ヨ汝ハ狡猾ナル小サナル惡漢<sup>ワルモノ</sup>テ有ル

「スタツファイ」而シテ「スピットファイヤ」ヨ汝ハ甚タ惡シキ醜<sup>ウジ</sup>デ有ル」如何ニ汝ハ争ヒ爲

スヨ而シテ總テ出ニ就テ汝ハ其處ニ鞠ニ於テ或ル面白サカ有ル事ヲ考ヘ爲ス乎」汝ハ

考ヘヌ乎」アーハー汝ハ其ヲ以テ遊フ所ノ「プツシ」ヲ見ル迄待テヨ

日光ヲ見ヨ「デーシ」ヨ「祖父ノ臉ニ上ニ其ノ或物ヲ擦スレ

私ハ美シキ赤キ而シテ白キ臉ヲ以テタル人形ヲ持チシ」然シナカラ一日私カ遊ヒツ、

有リシ所ノ野ニ於テ彼女ヲ忘レシ」汝ハ何ヲ考ヘ爲ス乎」雨カ總テノ美シキ彩色ヲ洗

ヒ去リシ「ウチツツ」下ニウエー」然シナカラ私ハ尙ホ彼女ヲ愛スル

第五十三章 學校ニ於テノ羊仔

(1)「メーリー」ハ雪白ノ羊毛ヲ以タル小サナル愛ラシキ羊仔ヲ持チシ」彼女カ行キシ

何處ヘデモ彼女ノ羊仔モ亦行ク可ク慥テ有リシ

(2)一日其ハ學校ニ迄彼女ニ從ヒシ」勿論(チア、コールス)此ハ規則ニ反シテ有リシ而

シ其カ教場ニ於テ羊仔ヲ見ル可ク小供等ヲシテ笑ワシメシ

(3)其故ニ教師ハ口ヨリ逐ヒ出セシ」小サナル羊仔ハ去ラステ有フ然シナカラ「メーリ

ー」カ出テ來リシ迄傍ニ近キ草ノ上ニ遊ヒシ(ブレード、キヤウト)

(4)羊仔ハ來ル所ノ「メーリー」ヲ見シヤ否ヤ其ハ彼女ニ迄走り上リシ而シテ彼女ノ腕ニ

於テ其ノ頭ヲ置キシ殆モ今私ハ恐レテ有ラヌ汝ハ誰レモチシテ私ヲ害サシメヌデ

有フ汝ハ有フカト言フ可ク

(5)何カ羊仔ヲシテ左様ニ「メーリー」ヲ愛セシムル乎ト小供等カ尋テシ



「メーリー」ハ羊仔ヲ愛スル汝カ知ル如クト教師カ答ヒシ

第五十四章 休日

出テ來レ愉快ナル遊ビニ向テ出テ來レ此ハ六月ノ愉快ナル月テ有ル而シテ我々ハ此ノ午後小山ヲ越ヘテ而シテ遙カ遠ク行クテ有フ  
ハナシ我々ハ休日ヲ持ツデ有フ而シテ森ヲ通シテ而シテ林路ノ上ニ我々ハ日光ニ於テ而シテ陰ニ於テ小山ヲ越ヒテ而シテ遙カ遠ク行クテ有フ  
野薔薇ハ枝ノ上ニ花開ク總テノ空ニ於テ雲カ有ラヌ而シテ愉快ナル鳥ハ音高ク歌ヒツ  
有ル小山ヲ越ヘテ而シテ遙カ遠ク  
我々ノ一人モ後ニ止マツテハナラム然シテナラ小サナル者而シテ總テハ夏ノ軟風カ靜ニ小山ヲ越ヘテ而シテ遙カ遠ク吹ク處ニ行クテ有フ

石盤上ノ課業

晝ニ於テ眺メヨ而シテ答テ書ケ

男子ハ何ヲ爲シツ、有ル乎

小サナル女兒ハ如何ナル動物ト共ニ遊ヒツ、有ル乎

如何ニ多クノ女兒ヲ汝ハ計ヒ能フ乎

第五十五章 叔父「シチン」ノ手紙

チカゴヨリ 一千八百八十三年八月十日

親愛ナル小サナル「アイダー」ヨリ

左様ニ汝ハ「ニユポルト」ニ於テ在ル

如何ニ汝ハ海ヲ好ミ爲ケカ「恐クハ多ク好マヌナラン其ハ左様ニ大キク有ル」然シテカラ汝カ皿ニ於テ置キ能フ所ノ美シキ小サナル海ヲ持ツ可ク汝ハ好マヌデ有フ乎  
海ハ甚タ要用テ有ル而シテ若シモ私カ其レニ近ク有リシナラバ私ハ以テ花園ニ濯ク可ク家ニ總テ其ヲ運ブデ有フ

私カ最後ニ其ヲ見シ時ニ其ハ戲ヲ甚タ好ンデ有リシ「波ハ嘗テ尙ホ汝ノ後ニ走タカ



汝ハ嘗テ海水ヲ味ヒ爲セシ乎」魚ハ彼等カ終日其ヲ飲ミツ、續ク事程左様ニ其レヲ好ミテ有ル

汝ハ嘗テ蟹ニ等シク一度ニ(エツト、ワンス)兩方ニ(トウ、ウエース)走ル可ク試ミ爲ヒシ乎」若シモ汝カ其ヲ爲シ能フカヲ見ニ如何トナレバ其ハ善キ戯レテ有ル故ニ若シモ汝カ私ノ爲メニ小サナル蟹ヲ捕ヘ而シテポールカ(舞躍ノ名)ヲ躍ル可ク其レニ教フルデ有フナラバ其ハ甚タ幸ニ私ヲ爲スデ有フ」一日ニ一時間(フナル、エン、アワ)來ル小サナル蟹ヲ持ツ可ク而シテ跛フコトヲ嬰兒ニ教フルコト其ハ善キ計策テ有ラヌデ有フ乎

私ノ小サナル蟹ガルカヲ躍ラセルコトヲ忘レ爲スナ シチン

汝ノ愛スル所ノ叔父

小サナル「アイダ」ノ手紙

ニハポールトヨリ 一千八百八十三年八月十四日

親愛スル叔父ノ「シチン」ヨ

海ハ時ノ最モ多ク甚タ美シク有ル然シナガラ其ハ少シモ善ク味ヒ爲サヌ」殆ント私カ沐浴ニ行ク毎ニ其ノ充分ヲ私ノ口ニ得ル其故ニ私ハ丁度如何ニ其カ味フカヲ知ルポールカヲ躍ルコトヲ蟹ニ教フルコトヲ私ニ願フトハ汝ハ可笑人テ有ルト私ハ考フル

面ノ母カ言フ嬰兒ハ趾ヒ爲サヌ彼ハ匍行スル

私ハ美ニキ貝ニ向テ眺ムル可ク海邊ニ迄「スウーシー」共ニ行ク

今朝私ハ彼等ノ一ツヲ以テ砂ニ於テ私ノ名ヲ書キシ其ハ此ニ等シク是エシ

アイター

第五十六章 我々ノ犬

- (1) 私ハ白キ毛茨ナル「スピツズ」テ有ル私ノ上衣ハ厚ク而シテ温カデ有ル如何トナレハ私ハ雪ノ國カラ來リシ故ニ
- (2) 如何ニ私ハ走り而シテ跳ヒ而シテ躍ルコトヲ好ミ爲スヨ」然リ私ハ私ノ哮喘ルコトニ依テ喧



- 噪ノ澤山ヲ爲スチ私カ知ル然シナカラ其カ私カ話シ能ク唯ツツノ仕方デ有ル其  
 故ニ私ハ私ノ好ムダケ左様ニ多ク嗜ル可ク行キツ、有ル
- (3) 而ノ私ハ水犬ヲ(水ニ慣レタル犬ヲ云フ)有ル私カ水中ニ生活スル事ヲ意味シ爲  
 サヌ私ハ私カ水ニ就テ恐レテ有ラヌ事ヲ意味スル
- (4) 否實ニヨリ私ハ其ヲ愛スル汝カ其ヲ遙ニ投ケル(スロー、アウト)時ニ泳キ而シ汝  
 ノ棒ヲ持來ルコトヲ私カ好ムヲ汝ハ知ル然シナカラ私カ溺ル人ヲ救ヒ能フ時ニ大  
 膽ニ跳ヒ込ムコトヲ尙ホヨリヨク好ム
- (5) 昨週小サナル「ミス、メーリー」ハ水中ニ落チシ然シナカラ私ハ叫ヒ出ス彼女ヲ  
 聞キシ而シ甚タ速ニ陸ニ迄安全ニ彼女ヲ持來リシ
- (6) 私ハ私ノ遊ニ於テ暴ク有ルテ有ラヌ然シナカラ私ハ多クノ男子而シ多クノ女子ノ生  
 命ヲ救フタ
- (7) 如何ニ汝ハ爲シ爲ス乎私ハ小サナル「ブレッツク、エンド、タン」ヲ有ル汝ハ設令ヒ  
 私カ汝ニ話セシ前ト雖モ私ヲ知リシ

- (8) 私ハ汝ト共ニ遊フコトヲ好ム汝カ能フダケ左様ニ遙ニ鞠ヲ投ケヨ私ハ其ヲ持チ歸  
 ルテ有フ私ハ設令ヒ汝カ爲シナサヌトモ戲ニ就テ勞レテデ有フ
- (9) チ私ハ面白サチ以テ滿チテ有ルヨ私ハ私カ笑ヘ能フヲ欲スル然シナカラ私ハ  
 唯々嗜ヘ能フ
- (10) 私ハ小犬有ル而シ私ノ名ハ「ルアグス」デ有ル然シナカラ私ハ私ノ名ヲ好ミ爲サ  
 ス「大犬ハ多クヨリ美シキ聲ヲ持ツ
- (11) 私ハ世界ニ於テ總テノ大犬ヨリハヨリ多クノ藝ヲ知ル情ヲ只今私ニ於テ眺メヨ  
 私ハ誰レモガ能フダケ左様ニ能ク立チ(シット、アップ)能フ
- (12) 私ハ私ノ前ノ足ニ於テ歩キ能フ私ハ私ノ後ノ足ニ於テ歩キ能フ私ハ一ツノ前ノ  
 足ト而シ一ツノ後ノ足ニ於テ歩キ能フ私ハ尙ホ躍リ能フ如何ニ汝ハ私ノ美シキ  
 攀レタル上衣ヲ好ミ爲ス乎
- (13) 私ハ「スパニエル」ヲ有ル而シ私ハ嘗テ生活セシ所ノ最モ能キ小犬デ有ル



(14) 私ハ私カ死シテ有ル如ク戯レ能フ「私モ亦博奕<sup>バク</sup>ヲ遊ヒ能フ」汝ハ決シテ男子ト共ニ  
鞠ヲ遊フ私ヲ見爲サザリシカ

(15) 毎朝私ハ私ノ小サナル主人ニ迄手拭ト面ヲ櫛ヲ持チ來ル「私ハ梳<sup>サ</sup>カレ而シテ洗レル  
「ナチ好ム來レ男子ヨ來レ女子ヨ我々ヲシテ遊戯ヲ持タシメヨ

作文ノ科

汝ノ答ヲ書ケ

「スピツズ、ドング」ハ白ク而シテ毛次テ有ル乎

水夫ハ溺ルル人ヲ救ヒ能フ乎

「ブラツク、エンド、タン」ハ面白ナシテ満チテ有ル乎

プードルハ多クノ藝ヲ知り爲ス乎

獵犬ハプードルヨリハヨク多クノ藝ヲ知り爲ス乎

第五十七章 神ノ親切ナル目

(1) 私ノ臥床ノ上ヲ見下ス所ノ天上ノ美シキ星ヨ汝ハ空カラ私ヲ注視スル所ノ神ノ親  
切ナル目テ有リ能フ乎

(2) 美シキ星ヨ私ガ眠ル間私ヲ越ヘテ親切ナル番ヲ保テヨ「星ヨ私ハ祈ル私カ輝キタ  
ル晝ニ於テ醒ムル迄能ク私ヲ番セヨ

第五十八章 學校ニ於テノ熊 第一編

(1) 我々ノ國ノ新シキ部分ニ於テ遙カ遠ク農夫等ハ熊カ夜ニ於テ來リ而シテ穀物ノ野ニ  
於テ多クノ害ヲ爲スデ有フ事ヲ見出セシ

(2) 彼等カ言ヒシ我々ハ之ヲ止メテハナラス「左様ニ彼等ハ總テ出會<sup>デ</sup>シ而シテ熊ノ獵ニ  
於テ出テ行キシ」長キ獵ノ後ニ彼等ハ二疋ノ熊ヲ殺セシ

(3) 熊ノ一疋ト共ニ熊ノ仔ガ有リシ而シテ老ヒタル熊カ射ラレテ有リシ時ニ獵人ノ一人  
ハ彼ノ息子ニ迄仔ヲ取り戻リシ

(4) 仔ハ黒キ毛而シテ太キ腕クキ足ヲ以テ肥ヘタル若キ小犬ニ恰モ等シク有リシ「其ハ



家ノ周リニ養ハレ而<sup>ソ</sup>育テラレテ有リシ而<sup>ソ</sup>直ニ犬ノ通り左様ニ訓レテ成リシ

(5)「シアツク」ハ(如何トナレハ其ハ彼等ガ彼レニ與ヘシ名テ有リシ)甚タ遊ヒ好キデ有リシ「彼ハ總テ彼ノ若キ主人ニ從ヒ廻ルテ有フ」僅カ後ニ彼ハ毎日學校ニ迄彼ト共ニ行ク可ク慣レシ

(6)最初ニ他ノ男子カ「シアツク」ヲ恐レテ有リシ然シナカラ速ニ彼ハ大ナル<sup>キニイリ</sup>寵ト成リシ「彼ハ休ミ迄學校ニ近キ森ニ於テ遊ヒ廻ルテ有フ」然ル時ニ小供等ハ彼等ノ辨當籠カラ善キ配分ヲ彼レニ與フルテ有フ」或者ハ林檎<sup>リンゴ</sup>ヲ他ノ者ハ菓子他ノ者ハ砂糖ノ(メーブル、シユガー)碗ヲ彼レニ與フルテ有フ「彼ハ大ナル愛寵物テ有リシ」冬ニ於テ「シアツク」ハ暖爐ノ傍ニ彼レ自身ヲ暖ムル可ク休ニ於テ入レラレテ(ソツト、イン)有リシ「彼ハ辨當籠カ壁ニ於ケル木釘ニ於テ懸ツテ有リシ處ヲ甚タ能ク知リシ而<sup>ソ</sup>若シモ彼カ善キ物ノ彼ノ配分ヲ得爲サマリシナラバ彼ハ彼自ラ食フテ有フ

(8)物事カ長キ時ノ間此ノ仕方ニ於テ進ミシ(ウエント、ナン)然シナカラ一日「シアツク」ハ見出サレ能ハザリシ

(9)彼ハ林ニ於テ彼ノ愛スル朋友ノ或物ニ出會ヒ而<sup>ソ</sup>彼ト共ニ行キ去ツタ手」其ハ小供等カ考ヘシ所ノ物テ有リシ而<sup>ソ</sup>多クノ日ノ間彼等バ歸リ來ル可ク彼等ノ遊ヒ仲間ニ向テ眺メシ而<sup>ソ</sup>望ミシ

第五十九章 學校ニ於テノ熊 第二編

(1)十年カ經過セシ(パツスド、ユウエー)老ヒタル教師ハ死シテ有リシ「男子而<sup>ソ</sup>女子ハ今男而<sup>ソ</sup>女テ有リシ」「シアツク」ハ忘レラレテ有リシ「然シナカラ古キ學校ハ尙ホ其處ニ有リシ設合ヒ男兒而<sup>ソ</sup>女兒ニ新シキ一群カ其レノ腰懸ニ滿チシトハ雖モ

(2)善シ或ル寒キ冬ノ日學校ノ戸ガ休ニ於テ開カレテ有リシ時ニ大ナル黒キ熊ガ入り込ミシ

(3)然ル時ニ如何ナル恐レガ其處ニ在リシヨ」或男子ハ戸ニ迄走リシ他ノ者ハ机ノ上



ニ跳ヒ上カリシ」二人或ハ三人ノ小サナル女兒ハ机ノ下ニ彼等自身ヲ藏クセシ」  
人ノ大ナル男兒ハ窓ナカ跳ヒ出テシ

(4) 然シナカラ熊ハ誰レモヲ害シ爲サザリシ」彼ハ急ニ火ニ迄歩ミ行キシ而シテ彼自身  
ヲ暖メシ」彼ハ家ニ於テ甚タ多ク有ル可ク見ヘシ而シテ有リ能フ通り左様ニ喜ンデ  
周圍ヲ眺メシ

(5) 暫時火ノ傍ニ坐スコノ後彼ハ辨當籃カ掛リツ、有リシ處ノ壁ニ迄歩ミ行キシ(ウ  
チークド、アツプ)彼ノ後ノ足ニ於テ彼自身ヲ立テツ、彼ハ籃ニ迄彼ノ足ヲ置キシ  
而シテ林檎而シ砂糖ノ(メーブル、シュツガー)碗ニ迄彼自身ニ備ヘシ」彼ハ大口ニ喰  
ヒシ(マンナド)而シテ熊ノ笑ヲ笑ヒシ」然ル時ニ彼ハ靜ニ學校カラ歩ミ出デシ

(6) 「ミストル、ベイヤ」ガ此ノ善キ時ヲ持チツ、有リシ間ニ窓カラ跳ビ出タ所ノ男兒  
ハ學校ニ於テノ熊學校ニ於テノ熊ト叫ヒツ、街道ヲ通シテ走リシ

(7) 然ル時ニ六人ノ善キ男カ熊ヲ射ル可ク彼等ノ銃砲ヲ以テ出立セシ」彼ノ足跡ガ雪

ニ於テ甚タ明ラカデ有リシ其故ニ彼等ハ直ニ彼ヲ以テ追ヒ附キシ(ゲーム、アツプ)  
而シテ彼ヲ殺セシ

(8) 丁度然ル時ニ若キ人々ノ一人カ大ナル叫ヒテ與ヘシ情ヲ其ハ「シアツク」テ有ル彼  
ノ毛皮ニ於テ此等ノ記號ニ於テ眺メヨ」然ル時ニ彼等ハ總テ眺メシ而シテ其カ彼等  
自身ノ學校時ノ朋友テ有リシヲ知リシ

(9) 然リ其ハ見舞ヲ彼等ニ爲ス可ク歸リ來ツタ所ノ「シアツク」テ有リシヨ」彼ハ再ビ  
古キ學校ヲ知ツタ然シナカラ憫然ナル徒ヨ彼ハ彼ノ舊キ遊ヒ仲間カ行ヒテ有リシ  
ヲ知リ爲サザリシ

作文ノ科

汝ノ答ヲ書ケ

如何ナル動物カ一日教場ニ迄歩ミシ乎  
小供等ハ何ヲ爲シ爲セシ乎



熊ハ何ヲ爲シ爲セシ乎

如何ニ多クノ人カ熊ノ後ニ出立セシ乎

彼等ハ彼ヲ射爲セシ乎「彼等ハ何ヲ見出シ爲セシ乎

第六十章 「シナルシ、ワシントン」

(1)「シナルシ、ワシントン」カ小サナル男兒テ有リシ時ニ彼ノ父ガ一日手斧ノ贈物ヲ  
彼ニ爲セシ

(2)「シナルシ」ハ彼ノ手斧ニ就テ甚ク誇テ有リシ「彼ハ如何ニ鋭ク其ガ有リシカタ而  
シ如何ニ大ナル木片ヲ其レガ爲スデ有フカタ見ル可ク板而シ大木頭而シ箇様ナル  
物ニ於テ其ヲ試ミツ、行キシ

(3)「シナルシ」ガ花園ニ於テ遊ヒツ、有リシ時遂ニ彼ハ彼ノ父ガ植ヒタル所ノ若キ櫻  
ノ木ニ迄來リシ「彼ノ斧ノ二或ハ三打ヲ以テ彼ハ二ツニ於テ木ヲ切リシ

(4)サテ「シナルシ」ノ父ハ此ノ木ニ就テ澤山考ヘシ「然シナカラ彼カ何ヲ爲シツ、有

リシカナ彼ガ考ヘ爲サザリシ事程左様ニ「シナルシ」ハ彼ノ手斧ヲ以テ喜ンデ有リ

シ

(5)没多時<sup>ホドナク</sup>彼ノ父ガ花園ニ迄來リシ而シテ二ツニ於テ切ラレ而シテ殺サレタル彼ノ愛スル

櫻ノ木ヲ見シ「然ル時ニ彼ハ甚ク怒ツテ有リシ「彼ハ彼レニ迄「シナルシ」ヲ呼ヒシ  
而シ若シモ彼ガ如何ニ木ガ切り倒サレテ有ツタカナ知リシト嚴シキ音聲ニ於テ彼

ヲ尋ネシ

(6)私ハ知リ爲サヌ父ヨト「シナルシ」ハ答ヒ爲セシ乎「否彼ハ其ノ外或ル者ニ於テ  
非難ヲ置キ爲セシ乎「否

(7)小サナル「シナルシ」「ワシントン」ハ信實ナル男兒テ有リシ「彼ノ父ハ常ニ信實ヲ  
話ス可ク而シテ虚言ヲ惡ム可ク彼レニ教ヘタリキ

(8)其故ニ彼ハ彼ノ父ニ迄歩ミ行キシ而シテ涙ニ迄發セシ斯ク言ヒツ、父ヨ私カ其ヲ爲  
セシ私ハ虚言ヲ話シ能ハヌ」私ハ私ノ手斧ヲ以テ其ヲ切リシ



(9)「シタルジ」ノ父ハ彼ノ腕ニ於テ小サナル若輩ヲ取リシ而シテ彼ヲ接吻セシ彼ガ言ヒシ私ノ愛スル息子ヨ私ハ一ツノ虚言ヲ話ス汝ヲ持ツヨリハ寧ロ一千本ノ櫻ノ木ヲ失フテ有フ

(10)此ノ小サナル信實ノ話シテガ大人デ有ル可ク成長セシ時ニ彼ハ勇敢テ而シ賢ク有リシ「彼ハ合衆國ノ（ユーナイテッド、ステーツ）第一ノ大統領デ有リシ而シ我々ハ彼レノ國ノ父ト「ワシントン」ヲ呼ブ

汝ノ答ヲ書ケ

「シタルジ、ワシントン」ノ父ハ手斧ノ贈物ヲ彼レニ爲シ爲セシ乎

彼ハ板而ノ木頭ニ於テ其ヲ試ミツ、行キ廻リ爲セシ乎

遂ニ彼ハ彼ノ父ノ愛スル櫻ノ木ヲ切り倒シ爲セシ乎

「シタルジ」ノ父ガ此ヲ見シ時ニ彼ハ甚タ怒ツテ有リシ乎

彼ハ若シモ彼ガ櫻ノ木ヲ切り倒セシガチ「シタルジ」ニ尋テ爲セシ乎父ハ私ハ虚言

ヲ話シ能ハヌ私ハ私ノ手斧ヲ以テ其ヲ切りシト「シタルジ」ハ言ヒ爲セシ乎  
「シタルジ」ノ父ハ然ル時ニ何ヲ言ヒ爲セシ乎

第六十一章 信實ナル男兒

(1)一度其處ニ清キ而シ尊キ目ヲ以テノ小サナル男子ガ生活シ爲セシ常ニ信實ヲ話セシ而シテ決シテ虚言ヲ話ザリシ所ノ男子ナリ

(2)而シテ彼ガ學校ニ迄走り去ル時小供等ハ總テ叫フテ有フ其處ニ決シテ虚言ヲ話サヌ所ノ學レタル頭ノ男兒ガ行ク

(3)而シテ各々ノ人ハ彼ガ信實ヲ話セシ故ニ彼カ生長スルニ從テ（アス）毎日彼等ハ正直ナル少年ト彼ヲ呼ビシ事程左様ニ彼ヲ愛セシ

(4)而シテ近ク立テシ所ノ人々カ何故ナルカノ道理ヲ尋ヌルデ有フ時ニ答ハ常ニ此デ有ルデ有フ彼ハ決シテ虚言ヲ話サヌ

第六十二章 金屬ニ就テ



- (1) 鉄ハ甚タ固ク而シテ強ク有ル而シテ其處ニ世界ニ於テ其ノ澤山カ有ル」私ハ其レ無クシテ我々ハ何ヲ爲ステ有フカチ知り爲サヌ左様ニ多クノ要用ナル物カ其レカラ造ラレテ有ル
- (2) 室ノ周圍ヲ眺メヨ而シテ鉄カラ造ラレテ有ル所ノ如何ニ多クノ物ヲ汝カ名指シ能フカチ見ヨ
- (3) 鐵匠ハ鉄ニ於テ働ク」彼ハ鍛鉄場ヲ持ツ彼ハ熱ク鉄ヲ爲ス可ク風櫃ノ大ナル一對ヲ以テ火ヲ吹ク
- (4) 今彼ハ鉄鉗ヲ以テ其ヲ取り出ス而シテ鉄砧ノ上ニ其ヲ置ク」今彼ハ鉗ヲ以テ其ヲ打ツ」如何ニ強ク彼カ働クヨ」火花カ飛ヒ廻ハル美シキ輝ク火花ナリ」鐵匠ハ何ヲ爲シツ、有ル乎」彼ハ釘ト而シテ馬鞋ヲ造リツ、有ル
- (5) 其處ニ鉄ヲシテ甚タ強クセシムル仕方ガ有ル」然ル時ニ其ハ鋼鉄ト呼ハレテ有ル」庖丁而シテ剪刀ハ鋼鉄カラ造ラレテ有ル

- (6) 銅ハ鉄ノ如ク左様ニ澤山ニ尙又左様ニ要用テ有ラヌ然シナカラ其ハヨリ強ク有ル」汝ハ總テ銅ノ釜及ヒ鍋ヲ見タ」如何ニ美シキ強キ針金カ銅カラ造ラレテ有ルヨ」或ル通貨モ亦銅ヲ有ル」如何ニ美シキ色ヲ其レガ持ツヨ
- (7) 亞鉛ハ片葉ニ迄造ラレテ有ル汝ハ煖爐ノ下ニ或ハ火處ノ前面ニ於テ其ノ片葉ヲ見ナンダカ
- (8) 鉛ハ小シク亞鉛ニ等シク見ユル然シナカラヨリ柔カニ而シテ甚タ重ク有ル」其ハ熱キ火ニ於テ溶ケルテ有フ」水管而シテ彈丸ハ鉛カラ造ラレテ有ル
- (9) 錫モ亦小シク亞鉛ニ等シク見ユル然シナカラ其ハヨリ美シク有ル」其ハ厨ニ於テ甚タ要用テ有ル」總テノ皿及ヒ盃而シテ桶而シテ錫カラ造ラレテ有ル所ノ鉢ニ就テ考ヘヨ

第六十三章 尙ホ金屬ニ就テ

(1) 黄金ハ罕テ而シテ高價テ有ル而シテ美シキ黄色ヲ持ツ」或ル貨幣ハ其カラ造ラレテ有



「十圓ノ黄金ノ一片ハイーグルト呼バレテ有ル」汝ハ嘗テ一ニ見爲セシ乎」勿論  
(チフ、コールス)汝ハ囊々金ノ懷中時計及ヒ金ノ指環ヲ見タ

(2) 汝カ殆ント彼等ヲ通シテ見能フ事程左様ニ薄シ薄キ箱ニ迄打タレテ有ル時ニ其ハ  
齒醫ニ依テ而シ書物ノ表紙而シ角ニ於テ而シ畫架ヲ飾ル可ク用エラレテ有ル

(3) 銀ハ輝キ而シ光ツテ有ル而シ亦錢ニ迄造ラレテ有ル」銀ノドルラーハ甚タ美シキ  
貨幣テ有ル」汝ハ如何ニ美シク銀ノ食ヒ而シ銀ノ杯カ有ルカヲ知ル」時トシテハ大  
ナル鉢ガ實價ノ銀デ有ル而シ其處ニ亦銀ノ袖時計ガ有ル」銀ハ高價テアル然シナ  
カラ黄金ノ通り殆ンド左様ニ罕シニ而シ高價テ有ラヌ

(4) 水銀ハ奇妙ナ事物テ有ル」汝ハ嘗テ汝ノ手ニ於テ或ル物ヲ保チ爲セシ乎」如何ニ重  
ク其レガ有ルヨ」如何ニ其レガ光ルヨ」而シ如何ニ其レガ走ル廻ルヨ」若シモ汝ガ  
試ムルトモ汝ハ其ヲ拾ヒ能ハヌ如何トナレバ其レハ鏡而シ鉛ニ等シク一塊ニ總テ  
一處ニ固結シ爲サヌ故ニ」其ハ殆ンド水ニ等シク走ル然シナカラ其ハ汝ノ手ヲシ

テ沾ラシメ爲サヌ

(5) 水銀ハ鏡ヲ造ル可ク玻璃ノ後面ニ於テ置カレテ有ル」汝ハ天氣ニ就テ話ス可ク戸  
ニ依テ上ニ懸ラレタル小サナル玻璃ノ管中ニ水銀ヲ見タ

(6) 我々が就テ讀ンタ所ノ總テ此等ノ物即チ鏡、而シ銅、亞鉛、鉛、而シ錫、黄金而シ銀、  
而シ水銀ハ金屬ト名ケラレテ有ル」其處ニ多クノ他ノ金屬ガ有ル然シナカラ此等  
ハ最モ多ク要用ナルモノデ有ル

(7) 總テノ金屬ハ地カラ採掘サレテ有ル」黄金ハ最モ多ク罕ナル而シ高價ナル金屬テ  
有ル」鏡ハ最モ多ク要用ナル金屬テ有ル

第六十四章 磨車ノ車輪

(1) 水ガ流ル如ク左様ニ早シ廻リ廻リテ其ガ行ク喧シキ塵ノ起ル磨車ヲ回轉サスル所  
ニ滴リ落チ運クル所ノ車輪ヨ其レカハグルグル廻ル

(2) 總テノ日運ツテ其レハ決シテ遊フ可ク止マラヌ滴リ落チ運クル所ノ車輪ヨ然シナ



カラ總テノ日運リツ、金ノ粉ヲ磨リツ、續ク

(3) 太陽ニ於テ輝キツ、高聲ニ笑フ然シナカラ太陽ニ於テ輝キツ、尙ホ働ク所ノ泡起アワダツ所ノ閃メシ所ノ車輪ノ上ニ愉快ナル水ガ走ル

第六十五章 勇敢ナル小サナル「ケート」

(1) 私ハ勇敢ナル小サナル女兒ノ信實ナル話シテ汝ニ話ス可ク行キツ、有ル

(2) 我々ノ國ノ新シキ地方ニ於ケル大ナル都會ニ近ク其處ニ鐵道ノ道ガ高キ橋ニ於テ小川ヲ渡ル所ノ場所ガ有ル

(3) 此ノ橋カラ遠カラズニ私ガ就テ汝ニ話ス可ク行キツ、有ル小サナル女兒ガ住スル彼ノ名ハ「ケート」ヲ有ル

(4) 近頃ノ或ル暴風雨ノ夜小サナル「ケート」ガ家ニ來ル可ク彼女ノ父ニ向テ注視シツ窓カラ眺メツ、立チシ時ニ彼女ハ列車ガ道ニ沿フテ來リツ、アリシ事ヲ見シ

(5) 彼女ハ乗車ヲ見罷ハザリシ夜ハ其レニ向テ餘リ暗ク有リシ然シナカラ彼女ハ機械

車ノ前面ニ於テ輝ヒタル光明ヲ見能ヒシ

(6) 小サナル女兒ガ眺メツ、有リシ間ニ而シテ丁度列車ガ近ク(ニーヤ、バイ)小河ニ行ヒタ時ニ總テ一度ニ機械車ノ光明ガ落キ而シ消ユル可ク見ユシ

(7) 「ケート」ハ再ヒ眺メツ然シナカラ見ラレ可ク光明ガ有ラザリシ然ル時ニ小サナル女子メ或物カ惡シク有リシ事ヲ恐レテ有リシ

(8) 彼女ハ提燈ヲ得シ而シ鐵道ノ道ノ方ニ走リ下リシ「彼女カ其處ニ行キシ時ニ彼女ハ橋ガ行ヘテ有リシヲ見出セシ雨ガ其ヲ流シ去ツタ事ヲ見出セシ

(9) 然ル時「ケート」ハ泡立ツ所ノ水ニ於テ下ニ遙カニ彼女ガ窓カラ見タ機械車而シ列車ガ横ルヲ知リシ

(10) 今「ケート」ハ簾々通行スル(ゴト、バイ)列車ヲ注視シテアツタ左様ニ彼女ハ丁度何時彼等ニ向テ眺ムル可クカチ知リシ

(11) 彼女ハ其處ニ破レタル橋ノ傍ニ立チシ時ニ他ノ列車ガ直チニ沿フテ進ミツ、來ル



- 有テ事ニ其ガ彼女ノ心ニ迄來リシ
- (12) 勇敢ナル女兒ハ若シモ彼女ガ能ヒシナラバ此ノ他ノ列車ヲ救フ可ク彼女ノ心ヲ定メシ(メード、アップ)彼女ハ一里隔ツタル最モ近キ停車場ニ迄走り戻ル可ク出立セシ
- (13) 此ノ停車場ニ達スル可ク彼女ハ廣キ川ヲ越ヘテ長キ高キ橋ヲ渡ル可ク可ク持テシ
- (14) 此ノ橋ヲ渡ル可ク其レガ晝間ニ於テサネモ容易テ有ラヌ而シテ此ハ夜テ有リシ暗キ暴風雨ノ夜ナリ「不幸ニモ丁度「ゲート」ガ橋ニ迄得シ時ニ風ガ彼女ノ提燈ニ於ケル光明ヲ吹き消セシ
- (15) 然シトカラ小サナル「ゲート」ハ打棄テ(ギツ、アップ)爲サザリシ「勇敢ナル女子」ハ彼女ガ河ノ他ノ方ニ達セシ迄彼女ノ手而シ膝ニ於テ大梁ニ沿フテ跣ヘシ「然ナル時ニ彼女ハ彼女ノ足ニ迄跳ヒシ而シ彼女ガ停車場ニ迄來リシ迄再ヒ走リシ
- (16) 彼女ノ衣服ハ裂カレ而シ濕レテ有リシ而シ彼女ハ辛シテ話シ能ヒシ「彼女ガ言ヒ

- 能ヒシ總テハ列車ヲ止メヨ列車ヲ止メヨデ有リシ」然ル時ニ彼女ハ地面ニ迄氣絶シテ倒レシ
- (17) 「ゲート」ハ丁度好時機(タイム)ニ於テ有リシ「モ」一分時ニ於テ乗車ガ沿フテ來リシ而シ停車場ニ於ケル人々ハ走り出テ、而シ彼等ヲ止メシ
- (18) 「ゲート」ハ勇敢ナル女兒テ有ラサリシ乎「乗車ニ於ケル總テノ人々、男而シ女而シ小供等ニ就テ考ヘヨ」而シ彼等ノ總テハ一人ノ小サナル女兒ニ依テ救ハレシ如何ニ喜ンテ彼等ガ有リシヨ而シ如何ニ幸ヒニ「ゲート」ガ有シヨ
- (19) 小兒等ヨ小サナル女兒テサヘモ若シ彼女ガ考フル可ク活潑デ而シ行フ可ク勇敢デアルナラハ如何ニ多クノ善ヲ爲シ能フヨ



明治廿年五月二十日版權免許  
全 年 十 月 出 版

定價金三拾五錢

新潟縣平民

譯述者 阿部欽次郎

新潟區寺浦通  
壹番町三十番戶

全 縣平民

出版人 櫻井 產 作

新潟區本町通  
六番町拾貳番地

各

東京本石町二丁目

覺張榮三郎

長岡町

松田周平

新潟區

片桐次郎

目黒十郎

井筒駒吉

三條町

上田屋治平

林 富吉

樋口屋小左衛門

田邊宗三郎

山井素功

地

上野又吉

水原町

片桐賢三

西村六平

本間東三郎

西村鐵次郎

佐藤庄八

地藏堂町

本間孝吉

伊丹屋藤吉

賣



棚

中條町

村山長太郎

高田町

藤屋直三郎

新發田町

大瀧九右衛門

與板町

清水屋庄平

中澤屋津平

村上町

中川津兵衛

白根町

中野長三

柏崎町

近江屋又四郎

高橋半三

寺泊町

高桑小平

加茂町

馬場吉十郎

高松惣七

五泉町

淺野六平

糸魚川町

八木多右衛門

小千谷町

野口休兵衛

佐渡

後藤平七

葛塚町

三條屋七十郎

渡邊覺左衛門

書

林



